各種お問い合わせ先

宿泊施設

青森県旅館ホテル生活衛生同業組合	017-777-3411
青森市旅館ホテル協同組合	017-777-4850
浅虫温泉旅館組合	017-752-3259
三厩旅館組合	0174-38-2011
平舘旅館組合	0174-25-2138
蟹田旅館組合	0174-22-2046
弘前市旅館ホテル組合	0172-34-2657
百沢温泉旅館組合	0172-83-2345
嶽温泉旅館組合	0172-83-2130
黒石市旅館組合	0172-52-2726
西十和田旅館組合	0172-59-5300
五所川原市旅館組合	0173-34-8910
平賀地区温泉旅館組合	0172-44-2245
大鰐温泉旅館組合	0172-48-3231
鰺ヶ沢旅館組合	0173-72-6511
深浦旅館組合	0173-74-3320
つがる市ホテル旅館組合	0173-46-2821

八戸市旅館ホテル協同組合	0178-45-2861
十和田市旅館ホテル業組合	0176-23-2076
おいらせ渓流温泉旅館組合	0176-74-2345
十和田湖旅館組合	0176-75-2221
三沢市旅館ホテル組合	0176-53-3053
おいらせ町旅館組合	0178-56-2757
五戸旅館組合	0178-62-6600
七戸旅館組合	0176-62-6001
東北町旅館組合	0175-63-3715
上北旅館組合	0176-56-5083
野辺地旅館組合	0175-64-3181
むつ市旅館組合	0175-22-6121
下風呂温泉旅館組合	0175-35-2010
中泊町（坂田旅館）	0173-57-2201
浪岡（マルミ・サンライズ旅館・食堂）	0172-62-2408
大間町（大間温泉海峡保養センター）	0175-37-4334
大間町（サンホテル大間）	0175-37-2001

大間町（体験民宿宿　葵）	0175-37-4212
大間町（みちのくホテル大間亭）	0175-37-5599
むつ市川内（岡村旅館）	0175-42-5138
平内町（夏泊ゴルフリンクス海浜ロッジ）	017-759-2211
碇ヶ関（古遠部温泉）	0172-46-2533
碇ヶ関（羽州路の宿あいのり）	0172-49-5005
六ヶ所村（ビジネスホテル市原クラブ青森六ヶ所店）	0175-72-3312
六ヶ所村（ビジネス旅館俺の宿）	0175-73-7755
六ヶ所村（ビジネスホテルしょうや）	0175-72-4488
ホテル東横INN青森駅正面口	017-735-1045
ホテル東横INN弘前駅前	0172-31-2045
ホテル東横INN八戸駅前	0178-27-1045
ホテル東横INN新青森駅東口	017-761-1045

■民宿

青森県民宿連合会	0176-75-2710

緊急・医療機関・保健所

■主要病院

県立中央病院	017-726-8111
県立つくしが丘病院	017-787-2121
青森市民病院	017-734-2171
国立病院機構弘前病院	0172-32-4311
弘前大学医学部附属病院	0172-33-5111
弘前市立病院	0172-34-3211
青森労災病院	0178-33-1551
国立病院機構八戸病院	0178-45-6111
八戸赤十字病院	0178-27-3111
八戸市立市民病院	0178-72-5111
黒石病院	0172-52-2121
つがる総合病院	0173-35-3111
三沢市立三沢病院	0176-53-2161
十和田市立中央病院	0176-23-5121
むつ総合病院	0175-22-2111
外ヶ浜国保外ヶ浜中央病院	0174-22-3450
公立野辺地病院	0175-64-3211
平川市国保平川診療所	0172-44-3101
公立かなぎ病院	0173-53-3111
公立七戸病院	0176-62-2105

■救急医療機関

青森市急病センター	017-773-6477
弘前市急患診療所	0172-34-1131
八戸市休日夜間急病診療所	0178-22-2277

■保健所

青森市保健所	青森市	017-765-5280
東地方保健所	平内町・今別町・蓬田村・外ヶ浜町	017-739-5421
弘前保健所	弘前市・黒石市・平川市・西目屋村・藤崎町・大鰐町・田舎館村・板柳町	0172-33-8521
八戸市保健所	八戸市	0178-43-2276
三戸地方保健所	おいらせ町・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村	0178-27-5111
上十三保健所	十和田市・三沢市・野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・六ヶ所村・東北町	0176-23-4261
むつ保健所	むつ市・東通村・大間町・風間浦村・佐井村	0175-31-1388
五所川原保健所	五所川原市・つがる市・鶴田町・中泊町・鰺ヶ沢町・深浦町	0173-34-2108

市町村の観光担当

	市町村名	担当課	電話番号	郵便番号	
市	青森市	交流推進課	017-734-5175	030-0801	育森市新町1-3-7
	弘前市	観光課	0172-35-1111	036-8551	弘前市大字上白銀町1-1
	八戸市	観光課	0178-43-2111	031-8686	八戸市内丸1-1-1
	黒石市	観光課	0172-52-2111	036-0396	黒石市大字市ノ町11-1
	五所川原市	観光物産課	0173-35-2111	037-8686	五所川原市字布屋町41-1
	十和田市	商工観光課	0176-23-5111	034-8615	十和田市西十二番町6-1
	三沢市	産業観光課	0176-53-5111	033-8666	三沢市桜町一丁目1-38
	むつ市	観光戦略課	0175-22-1111	035-8686	むつ市中央1-8-1
	つがる市	商工観光課	0173-42-1114	038-3192	つがる市木造若緑61-1
	平川市	商工観光課	0172-44-1111	036-0242	平川市猿賀南田15-1
東津軽郡	平内町	水産商工観光課	017-755-2118	039-3393	平内町大字小湊字小湊63
	今別町	産業観光課	0174-35-2001	030-1502	今別町大字今別字今別167
	蓬田村	産業振興課	0174-27-2111	030-1211	蓬田村大字蓬田字汐越1-3
	外ヶ浜町	産業観光課	0174-31-1228	030-1393	外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2
西津軽郡	鰺ヶ沢町	政策推進課	0173-72-2111	038-2792	鰺ヶ沢町大字本町209-2
	深浦町	観光課	0173-74-2111	038-2324	深浦町大字深浦字苗代沢84-2
中津軽郡	西目屋村	産業課	0172-85-2111	036-1492	西目屋村大字田代字稲元144
南津軽郡	藤崎町	企画財政課	0172-75-3111	038-3803	藤崎町大字西豊田一丁目1
	大鰐町	企画観光課	0172-48-2111	038-0292	大鰐町大字大鰐字羽黒館5-3
	田舎館村	企画観光課	0172-58-2111	038-1113	田舎館村大字田舎館字中辻123-1
北津軽郡	板柳町	産業振興課	0172-73-2111	038-3692	板柳町大字板柳字土井239-3
	鶴田町	企画観光課	0173-22-2111	038-3595	鶴田町大字鶴田字早瀬200-1
	中泊町	水産商工観光課	0173-57-2111	037-0522	中泊町大字小泊字小泊488
上北郡	野辺地町	地域戦略課	0175-64-2111	039-3131	野辺地町字野辺地1231
	七戸町	商工観光課	0176-62-2501	039-2501	七戸町字荒熊内67-997 道の駅しちのへ道路・観光情報館内
	六戸町	産業課	0176-55-3111	039-2392	六戸町大字犬落瀬字前谷地60
	横浜町	産業振興課	0175-78-2111	039-4145	横浜町字寺下35
	東北町	商工観光課	0176-56-3111	039-2492	東北町上北南四丁目32-484
	六ヶ所村	政策推進課	0175-72-2111	039-3212	六ヶ所村大字尾駮字野附475
	おいらせ町	商工観光課	0178-56-2111	039-2289	おいらせ町上明堂60-6
下北郡	大間町	産業振興課	0175-37-2111	039-4692	大間町大間字奥戸下道20-4
	東通村	商工観光室	0175-27-2111	039-4292	東通村大字砂子又字沢内5-34
	風間浦村	産業建設課	0175-35-2111	039-4502	風間浦村易国間字大川目28-5
	佐井村	総合戦略課	0175-38-2111	039-4711	佐井村大字佐井字糠森20
三戸郡	三戸町	まちづくり推進課	0179-20-1117	039-0198	三戸町大字在府小路町43
	五戸町	総合政策課	0178-62-2111	039-1513	五戸町字古舘21-1
	田子町	産業振興課	0179-20-7114	039-0292	田子町大字田子字天神堂平81
	南部町	商工観光課	0178-84-2119	039-0892	南部町大字苫米地字下宿23-1
	階上町	産業振興課	0178-88-2111	039-1201	階上町大字道仏字天当平1-87
	新郷村	産業建設課	0178-78-2111	039-1801	新郷村大字戸来字風呂前10

お問い合わせ・「あおもり教育旅行ガイドブック」設置箇所

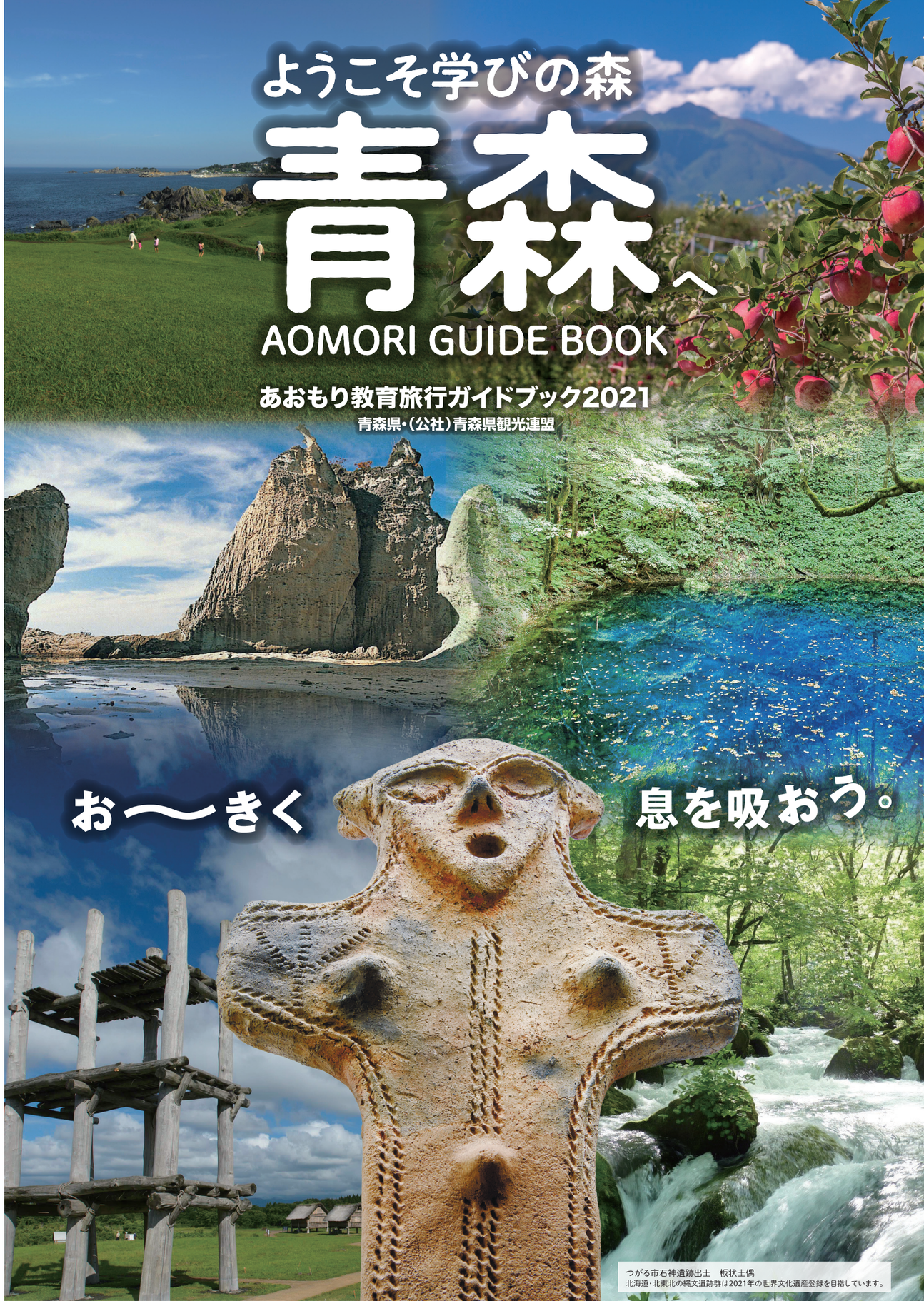
（公社）青森県観光連盟　〒030-0803　青森市安方1丁目1-40　**tel. 017-722-5080**

青森県誘客交流課	〒030-8570	青森市長島1丁目1-1	tel. 017-734-9384
青森県東京事務所	〒102-0093	東京都千代田区平河町2丁目6-3 都道府県会館7F	tel. 03-5212-9113
青森県大阪情報センター（北東北三県大阪合同事務所）	〒530-0001	大阪市北区梅田1丁目3-1-900 大阪駅前第1ビル9F	tel. 06-6341-2184
青森県名古屋情報センター（北東北三県名古屋合同事務所）	〒460-0008	名古屋市中区栄4丁目16-36 久屋中日ビル	tel. 052-252-2412
青森県福岡情報センター（北東北三県福岡合同事務所）	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目8-34 住友生命福岡ビル1F みちのく夢プラザ内	tel. 092-736-1129

青森県教育旅行ホームページ：あおもり教育旅行ガイド **https://www.aptinet.jp/shuryo/**

編集・発行／ 青森県・（公社）青森県観光連盟

本誌に掲載した各体験学習メニューの内容や実施時期、料金は2021年3月時点のもので変更される場合があります。事前に各施設へお問い合わせください。



「青森県」という教材をご提案します



「生きる力」をはぐくみ、確かな学力を育成する重要な機会として
「体験」を通してより深く「学び」を得られるプランが
求められている教育旅行。
今、子どもたちには、主体的に判断・行動し、様々な状況に応じた
問題解決の能力を身につけることが求められています。
美しい自然と、本州最北の地ならではの独特の風土、先人が築き、はぐくみ、
受け継がれてきた文化や伝統など、
様々な財産を有する青森県だからこそ、
ご提案できる体験旅行があります。
体験を通じて、これからの自分のあり方・生き方、ともに生きること、
支えあう心などについて発見してほしい、
考えてほしい。これが青森県を訪れる生徒たちに、
私たちが伝えたいメッセージです。

ようこそ学びの森
青森へ



豊かな学習活動のための
体験プログラムをご用意しています

将来を担う子どもたちに提案すべき教育旅行は、独自性に富み学習目的が明確で、
かつ教育効果が期待できるものであることが必要です。
私たちは、青森県の地域性を活かし、祭り、伝統芸能、歴史、自然と環境保護、エネルギー問題、
芸術や文学、産業体験など多彩な12のテーマで体験プランを提案いたします。
他の地域では決して体験・見学することのできない本物にふれ、
地域の人々と交流することで、大きな学習効果を得て、
生涯の思い出となり得る感動を味わってほしいと考えます。
また、教育旅行に求める成果も学校により様々です。
ご紹介する複数のテーマを組み合わせることで
多彩なプランづくりが可能です。ご相談に応じますのでぜひお問い合わせ下さい。
どうぞ、このガイドブックを活用し、
ぜひ教育旅行で青森県においでくださいますよう、私たちはお待ちしています。

SDGsに関連した体験プログラムを
ご用意しています

2015年の国連サミットで世界のリーダーによって定められたSDGs（エスディージーズ）。貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、2030年までに達成すべき「17の目標」と「169のターゲット」で構成されており、これらの目標を学び、体験するプログラムを提案いたします。

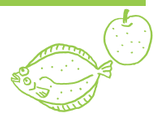


県名の由来

「青森」という地名は、江戸時代初期、弘前藩が現在の青森市に港町の建設を始めた時に名付けられました。当時、善知鳥村の東（青森市本町辺り）の小高い丘に松が青々と生い茂っており、港に入る漁船の目印となり「あおもり」と呼ばれたことに由来すると言われています。明治期、弘前から地理的な中心であるこの地に県庁所在地が移され、地名をそのまま県名としました。

青森県のシンボル

青森県の花…りんごの花
青森県の木…ヒバ
青森県の鳥…ハクチョウ
青森県の魚…ひらめ



青森県の地域

青森県は、江戸時代に津軽氏が治めていた「津軽地方」と、南部氏が治めていた「南部地方」の2つの地域に大きく分けられます。津軽地方は、青森市や弘前市を中心とする日本海側地域で、南部地方は八戸市や十和田市・三沢市を中心とする太平洋側の地域。南部地方には、むつ市を中心とする下北半島の「下北地方」も含まれます。



津軽と南部の気質

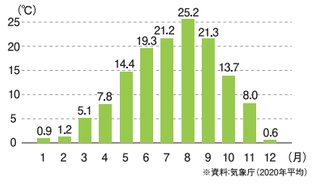
青森県は、明治期の廃藩置県によって弘前藩全域と南部藩の一部を割り当てられました。2つの藩は暮らし方が違っており、弘前藩は稲作中心、南部藩は南部馬で知られる馬の産地。気質も異なり、津軽人は積極的・行動的、南部人はおとなしく忍耐強いという見方をされることが多いようです。



数字で見る青森県

面　積／約9,645.64㎢（2020年10月1日）
人　口／1,227,653人（2021年1月1日）
（青森県統計分析課「青い森オープンデータカタログ」より引用）
年平均気温／11.6℃（2020年）

●県庁所在地の月別平均気温（℃）



※資料:気象庁（2020年平均）

新型コロナウイルス感染症対策の凡例

マスク着用必須
消毒実施
検温実施
混雑時に入場制限あり
発熱の場合入場制限あり
体調不良の場合入場制限あり

「あおもり観光新型コロナ対策推進宣言施設」のポスターやステッカーが表示されている施設は、新型コロナウイルス感染症防止対策を自主的に実施している施設です。



「あおもり観光新型コロナ対策推進宣言施設」のポスター

12の体験テーマ

「生きる力」を育む、教育旅行をサポート





テーマ01 青森の祭り ねぶた・ねぷたを学ぶ
テーマ02 津軽の伝統芸能 津軽三味線を学ぶ
テーマ03 縄文の歴史を学ぶ
テーマ04 世界自然遺産「白神山地」を学ぶ
テーマ05 人と自然の共生を考える
テーマ06 十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の自然を観察する
テーマ07 青森の雪とふれあい、冬を楽しむ
テーマ08 エネルギーと科学について学ぶ
テーマ09 青森で芸術を学ぶ
テーマ10 青森の文学 太宰治・寺山修司を学ぶ
テーマ11 りんご産業を学ぶ
テーマ12 ふれあって感動する〜農作業体験と農家民泊〜（津軽地域／県南地域）

目次

体験学習素材の宝庫　青森はこんなに近い! …… 3
おすすめ体験メニュー　ねぶた祭伝承体験 …… 5
苔から始まる奥入瀬渓流 …… 6
テーマ01　青森の祭り ねぶた・ねぷたを学ぶ …… 7
テーマ02　津軽の伝統芸能 津軽三味線を学ぶ …… 9
テーマ03　縄文の歴史を学ぶ …… 11
テーマ04　世界自然遺産「白神山地」を学ぶ …… 13
テーマ05　人と自然の共生を考える …… 15
テーマ06　十和田湖・奥入瀬渓流・八甲田の自然を観察する …… 17
テーマ07　青森の雪とふれあい、冬を楽しむ …… 19
テーマ08　エネルギーと科学について学ぶ …… 21
テーマ09　青森で芸術を学ぶ …… 23
テーマ10　青森の文学 太宰治・寺山修司を学ぶ …… 25
テーマ11　りんご産業を学ぶ …… 27
テーマ12　ふれあって感動する〜農作業体験と農家民泊〜
津軽地域 …… 29
県南地域 …… 31
青森で深く学ぶ　青森県「深」探究プログラム …… 33
自主研修スポット（青森市内・弘前市内・八戸市内） …… 39
注目のTOPICS & エリア 奥津軽エリア …… 45
あおもり体験セレクトコース …… 46
エリア別体験施設一覧 …… 47

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラム内容が変更となっている場合もございます。
また、営業時間や定休日が通常と異なっている場合もございます。詳細については、各施設や主催者、団体等にお問い合わせください。

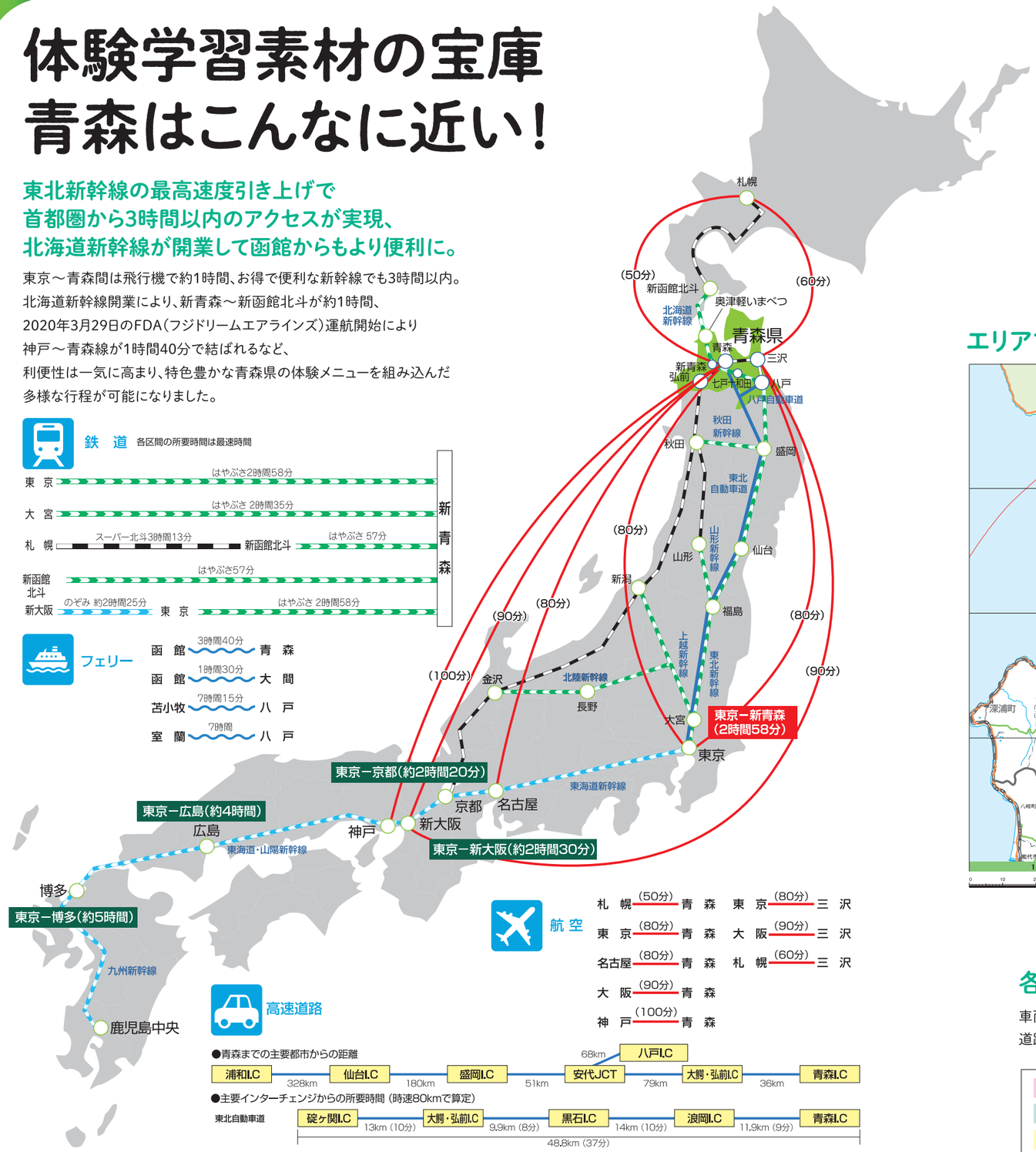
体験学習素材の宝庫
青森はこんなに近い！

東北新幹線の最高速度引き上げで 首都圏から3時間以内のアクセスが実現、 北海道新幹線が開業して函館からもより便利に。

東京～青森間は飛行機で約1時間、お得で便利な新幹線でも3時間以内。
北海道新幹線開業により、新青森～新函館北斗が約1時間、
2020年3月29日のFDA（フジドリームエアラインズ）運航開始により
神戸～青森線が1時間40分で結ばれるなど、
利便性は一気に高まり、特色豊かな青森県の体験メニューを組み込んだ
多様な行程が可能になりました。

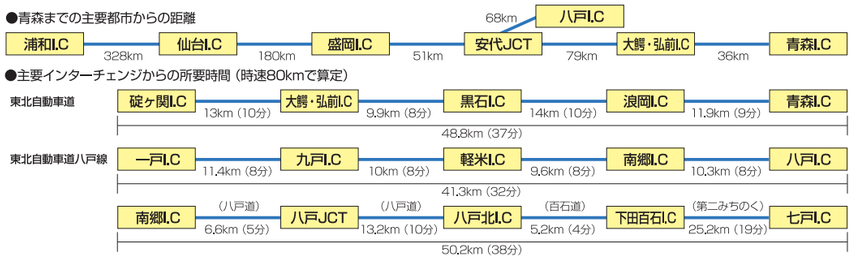
鉄　道　各区間の所要時間は最速時間

フェリー



航　空

高速道路



東北デスティネーションキャンペーンで盛りあがる青森。

東北6県の自治体や観光関係者、JR6社など一体となって行う大型観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン」が、2021年4月1日（木）から9月30日（木）まで実施されます。青森から、自然・歴史・文化・食など、東北だからこそ発見できる日本の魅力と旅の楽しみをアピールしていきます。

巡るたび、出会う旅。東北 東北デスティネーションキャンペーン 2021.4.1～9.30

日本初の世界自然遺産・白神山地、 ユネスコ世界文化遺産登録を目指す三内丸山遺跡などの 縄文遺跡群、青森にしかない貴重な体験学習メニューの数々。

新青森駅から三内丸山遺跡はバスで10分、白神山地へはバスで約2時間。
東日本大震災後の復興に貢献するため、
2013年5月に「三陸復興国立公園」の指定を受けた種差海岸も、八戸駅から電車で30分強。
雄大な自然や歴史に触れる旅がすぐそこにあります。

エリアマップ



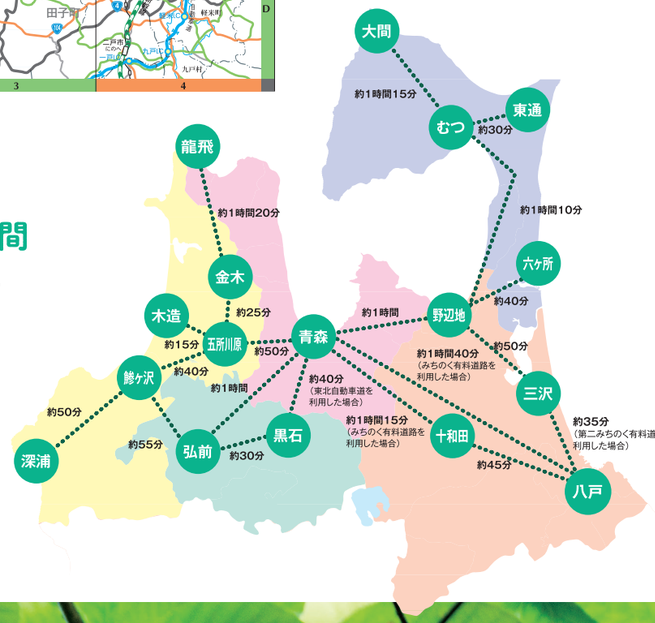
凡　例

県　境
郡　境
町村境
国　道
主要地方道
高速道路
有料道路（JCT/IC　SA/PA）
新幹線（えき）
JR（えき）
私鉄線
航　路
自動車専用道路
下北半島縦貫道路計画路線

各エリアへのアクセス時間

車両を利用した場合の目安時間となります。
道路状況や、気候によって異なります。

- 青森・浅虫温泉周辺
- 弘前・黒石周辺
- 奥津軽・白神山地周辺
- 十和田・八戸周辺
- 下北半島周辺



おすすめの体験メニュー Nebuta Festival

本番さながらのねぶた祭体験

ねぶた祭伝承体験

SDGsに関連した体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策実施

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

学習のねらいとその効果

ねぶたの家ワ・ラッセでは、祭り本番に出陣した大型ねぶたに囲まれ、本番さながらの祭りを体験します。
子供たち自らが祭りスタッフとなり体験する事で、地域に伝承されている「ねぶた文化」をより深く学ぶとともに、祭りを行うことで生まれる連帯感や達成感が体験だけではない本物のねぶた祭を創りあげます。
永く伝承されるねぶた祭を体験することで、自分たちの地域文化に目を向けるきっかけとなり、伝統を担うことの意味を学びます。



体験メニュー

腰鈴づくり 30分

ハネトは衣装にたくさんの鈴をつけ踊ります。ハネト体験の際に腰に下げると一層祭り気分に浸れること請け合いです。体験後はお土産にお持ち帰り下さい。



囃子教室 30分

ねぶた祭の囃子は３種類の楽器で演奏します。未経験者でも楽しく学ぶ事ができます。
◉教室の指導内容は、初心者向け講習で、太鼓、手振鉦の楽器からお選びいただけます。各楽器ごとに30分で完結する内容となっています。
◉笛に関してはスタッフが演奏を担当いたします。





ハネト着付け体験 20～40分

ハネト衣装の着付けをスタッフ指導のもと二人一組で行います。
◉衣装を着用する際は、トレーニングウェアのまま行います。足袋、草履は履きませんので、動きやすい靴でご参加ください。
◉浴衣はご持参いただいてもかまいません。その際は、タスキ、シゴキをご用意いたします。





★ねぶた祭伝承体験プラン組み合わせ例

① ハネトプラン	オリエンテーション（10分）	腰鈴づくり（30分） ハネト着付け体験（40分）	ハネト体験（15分）
② ねぶた囃子プラン		囃子教室（30分）	合奏（15分）
③ ねぶた探求プラン		ワ・ラッセ見学　ガイド付き（30分）	ハネト体験（15分）

ねぶたの家　ワ・ラッセ　小 中 高

お問い合わせ先　☎017-752-1311
住所　〒030-0803　青森市安方一丁目1-1
ウェブサイト　http://www.nebuta.jp/warasse/
アクセス　JR「青森駅」より徒歩1分
営業時間/ ねぶたミュージアム・ねぶたホール
9:00～19:00（5～8月）、
9:00～18:00（9～4月）
入 場 料 / 小学生260円　中学生260円
高校生460円　大人620円

内　容	受入期間	体験可能時間	所要時間	体験人数	料　金
★　腰鈴づくり	通年	9:00～17:00	30分	10～100人	600円・ミニ腰鈴400円
★　囃子教室	通年	9:00～17:00	30分	各楽器30人	各楽器30人まで無料
★ ハネト着付け体験	通年	9:00～17:00	20～40分	10～40人	2,000円（ミニ腰鈴・うちわ付）

★印のメニューは、体験会場の準備の都合上、事前にお問い合わせください。

おすすめの体験メニュー Oirase experience

大きな自然は小さな自然が集まってできている

苔から始まる奥入瀬体験

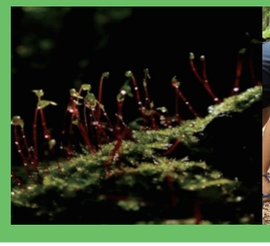
SDGsに関連した体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策実施

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

学習のねらいとその効果

国立公園特別保護地区、国の特別名勝及び天然記念物として指定されている奥入瀬渓流の景観を、単に視覚的鑑賞に留めることなく、八甲田大噴火というダイナミックな地学史から始まり、数十万年の時を経て、多様な生命が渾然一体となって創りだしたその上質な自然景観の成り立ちを、蘚苔類（コケ）という小さな自然を切り口にすることによって学びます。

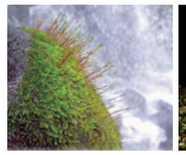




体験メニュー

レクチャー 25分　自然形成のストーリーを知る

奥入瀬渓流の成り立ちとコケについての説明を聞く
◉イラストや写真によって、奥入瀬渓流の地史的な形成と景観の自然史的な形成を簡単に分かりやすく説明します。
◉ダイナミックな地史と繊細な自然史のつながりを理解してもらいます。





コケの観察 25分　小さな自然を観察する

ルーペを使ってガイドと共にコケの小宇宙の世界をのぞく
◉種の名前を覚えることが目的ではなく「楽しむ」ことを目的とします。
◉小雨でも催行します。雨に濡れたときほど美しい姿に触れることができます。





こけ玉作り 50分　自然の成り立ちを創作する

苔で成り立つ自然を創作体験する
◉奥入瀬渓流に点在する「苔むした岩」を題材に、インストラクターの解説を聞きながら製作します。
◉完成したこけ玉は持ち帰る事ができます。
※こけ玉の材料（苔や植物など）は、園芸業者から仕入れた物のみを使用。





奥入瀬渓流散策 80分　大きな自然を体感する

今までとは違った自然の見方を体感する
◉国立公園に指定されている奥入瀬渓流の遊歩道をガイドの説明を聞きながら散策し、自然界の営みを体感します。





★苔から始まる奥入瀬体験プラン組み合わせ例

最大40人	Aグループ・1班10人	こけ玉作り（50分）（1班・2班合同）	レクチャー（展示解説）/コケ観察（フィールド）（50分）（1班・2班に分かれる）	奥入瀬渓流散策（80分）（A・B合同）
	Aグループ・2班10人			
	Bグループ・1班10人	レクチャー（展示解説）/コケ観察（フィールド）（50分）（1班・2班に分かれる）	こけ玉作り（50分）（1班・2班合同）	
	Bグループ・2班10人			

（一財）十和田湖ふるさと活性化公社　小 中 高

お問い合わせ先　☎0176-74-1233
住所　〒034-0301　青森県十和田市奥瀬字栃久保183
ウェブサイト　http://www.oirase.or.jp
アクセス　十和田観光電鉄バス「奥入瀬渓流館」前下車
JRバス東北「焼山」下車より徒歩約3分

運行期間	体験可能時間	体験人数	料　金
4月～11月	9：00～16：30	最大40人 10人×4グループ （ガイドは1グループ1名）	レクチャー コケ観察 奥入瀬渓流観察 こけ玉作り　2,200円 2,000円

テーマ 01

教科とのかかわり
社会・美術

青森の祭り
ねぶた・ねぷたを学ぶ

SDGsに関連した体験プログラム

学習のねらいとその効果

＊ 青森の伝統的な祭り「ねぶた・ねぷた」にふれ、地域の歴史や生活文化、祭りに込められた人々の想いを学ぶ。
＊ 青森の祭りについて学び体験することを通して、風土に根ざした地域文化への関心と理解を高める。
＊ ねぶたの運行体験を通じて、達成感や感動、「ねぶた」のパワーを感じるとともに役割分担と協力の大切さを学ぶ。



日本を代表する火祭りのひとつ「青森ねぶた」。ねぶた制作:竹浪比呂央

五所川原の立佞武多（平成5（1993）年に明治・大正期の設計図が発見され、これをもとに製作しようという運動が始まり、5年後の夏祭りで80年ぶりに復活した。

青森人の1年はねぶたとともにある

東北の夏を代表する祭りのひとつ、青森ねぶたは昭和55（1980）年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。「ねぶた」の起源は、みそぎの行事「七夕」に行われる「眠り流し」の灯籠流しに由来するというのが一般的です。秋の収穫期を前に、労働を妨げる睡魔をはらうために行われたとも言われています。

ねぶたを製作する人を「ねぶた師」と呼びます。ねぶた師は、ねぶた祭りが終わるとすぐ来年の構想に取りかかります。題材を考え、構想を練り、設計図となる下絵を描く。下絵をもとに骨組みをつくり、紙貼り、墨書き、ロウ書き、色づけ、台上げなどの作業を経て、ようやく完成です。製作期間は約1年で、その間に囃子方の練習も行われます。祭りを待ち望む多くの市民によるボランティア活動も盛んです。

地域の風土に根ざした祭りのかたち

青森県では、「青森ねぶた」の他にも各地で様々なねぶた・ねぷたが開催されています。その代表的なものが「弘前ねぷた」や「五所川原立佞武多」です。囃子方のかけ声は、青森が「ラッセラー」、弘前は「ヤーヤドー」、五所川原は「ヤッテマレ」と、それぞれ違います。弘前ねぷたは、青森ねぶたとともに国の重要無形民俗文化財に指定されています。その違いはよく〝動〟の青森、〝静〟の弘前と表現されます。青森の「ねぶた」が歌舞伎風の人形の灯籠なのに対し、弘前は扇形が主体。「ねぷた」の表面には三国志などの勇壮な鏡絵が描かれ、見送り絵と呼ばれる裏面には美人画や水墨画が描かれます。五所川原立佞武多は、高さが約23mの巨大な山車が運行されます。


情緒あふれる「弘前ねぷた」。


青森ねぶたの昼間運行で躍動する跳人（はねと）たち。

体験プランの一例

ねぶた・ねぷたを実際に見て歴史や製作工程を学び、
ハネト・囃子方・曳き手に分かれてのねぶた運行や、ねぶた囃子演奏を体験します。
これにより、伝統文化への関心を深め、想像力や工夫する力を養い、
協力して事を成し遂げる達成感と感動を得ることができます。



立佞武多の館

展望ラウンジ「春楡（はるにれ）」や物産ホール「花しょうぶ」でお土産購入や食事も可能。

①立佞武多展示室（40分）
大型スクリーン上映で祭りを体感。
高さ約23㍍の立佞武多を見学。

②立佞武多製作所（40分）
作業時期に応じて、実際に出陣する立佞武多の製作参加体験。

③遊楽工房「かわらひわ」（45～90分）
立佞武多の紙を再利用したうちわなどの製作体験。

ねぶたの家 ワ・ラッセ

①学習教材DVD鑑賞（約15分）
ねぶたの1年がわかる映像を鑑賞。

②太鼓体験（約20分）
実際に太鼓をたたいたり、音に合わせて跳ねたりします。

③ねぶたミュージアム・ねぶたホール見学（約20分）
ねぶたの歴史、製作技術や題材の移り変わりを学び、実際に出陣したねぶたを見学。

④ワ・ラッセ工房（60～90分）
ミニ金魚ねぶた、ミニねぶた面色付けなどの制作を体験。

津軽藩ねぷた村

①弘前ねぷた館見学（約30～45分）
高さ10mの大型ねぷたと内部の骨組みを見学。ねぷたの説明や笛と太鼓のお囃子を鑑賞。太鼓叩き体験も可能。各地域ねぶた、ねぷたのお囃子を聞き比べショーも実施可能。

②民工芸品製作体験（90分）
金魚ねぷたや津軽凧などの製作体験。

浅虫温泉ねぶた運行体験

①跳人・囃子・曳き手の役割を分担（約10分） → ②運行出発地点へ集合（2～3分） → ③浅虫温泉ねぶた2台を運行（小雨決行）（約60分） → 各宿泊先へ


ねぷた祭の期間を除く5月から9月、跳人たちと一緒に実際の祭りの雰囲気を味わうことができる。

おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

立佞武多（たちねぶた）の館 小中高

お問い合わせ先 ☎0173-38-3232
住所／〒037-0063
五所川原市大町506-10
ウェブサイト／http://www.tachineputa.jp
アクセス／浪岡I.C.より車で約20分
JR「五所川原駅」より徒歩約5分
営業時間／9:00～19:00（10月～3月は17:00まで）
入館料／無料 なお、「立佞武多展示室」、「立佞武多展示室と美術展ギャラリーセット券」ともに、小・中学生300（団体270）円、高校生500（団体450）円の入場料がかかります。

新型コロナウイルス感染症対策実施

①金魚ねぶた製作体験（約60分）
紙貼りまで終えた金魚型のねぶたに顔を描き込む「墨入れ」、柄をつける「ロウ引き」、色を塗る「色付け」の3工程を行います。
※30人を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。
※化粧箱にその場で詰めるため、乾燥させる待ち時間はなく、その場で持ち帰りできます。

②ねぶたライト（約60分）
ねぶたを解体する際に剥いだ紙を再利用し、筒状のベースに好きな形で貼り付けする簡単作業でオリジナルのライトが作れます。
※30人を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。

③うちわづくり（約45分）
ねぶたを解体する際に剥いだ紙を再利用し、あらかじめ切り分けた紙をうちわのネネに貼り付ける作業を行います。
※30人を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
①	通年	10:00～16:00	最大30人	有料
②	通年	10:00～16:00	最大30人	有料
③	通年	10:00～16:00	最大30人	有料

ねぶたの家 ワ・ラッセ 小中高

お問い合わせ先 ☎017-752-1311
住所／〒030-0803 青森市安方1丁目1-1
ウェブサイト/http://www.nebuta.jp/warasse/
アクセス/JR「青森駅」より徒歩1分
営業時間/ ねぶたミュージアム・ねぶたホール 9:00～19:00(5～8月), 9:00～18:00(9～4月)
入場料/小・中学生260円 高校生460円 大人620円

新型コロナウイルス感染症対策実施

ワ・ラッセ工房（60～90分）
オリジナル教材によるものづくり体験
■ ミニ金魚ねぶた…簡易なキットを使用して「骨組み」から作る金魚ねぶた。
■ ミニねぶた面色付け…無地のレリーフ面に独自のねぶた面を描く教材

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	9:00～17:00	10～最大180名	各1,000円

ねぶた体験教室（30～50分）
ねぶたの製作過程や、祭りの様式を映像などで学び、ハネト踊りや祭り囃子の体験を通してねぶた祭の魅力を体感する。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	9:00～17:00	10～最大120名	教育旅行生の場合無料

紙貼り体験（10～30分）
ねぶたの製作工程のひとつである「紙貼り」体験ができる。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	①10:00～10:30 ②14:00～14:30	最大30名	教育旅行生の場合無料

津軽藩ねぷた村 小中高

お問い合わせ先 ☎0172-39-1511
住所/〒036-8332 弘前市亀甲町61
ウェブサイト/http://neputamura.com
アクセス/JR「弘前駅」よりバス「津軽藩ねぷた村」下車すぐ、大鰐弘前I.Cより車で約20分
営業時間/9:00～17:00
入村料/中・高校生350円(団体300円)
「弘前ねぷたの館」では中の構造を見学出来る大型の弘前ねぷたを展示し、お囃子の実演をしています。太鼓の演奏体験も可能。

新型コロナウイルス感染症対策実施



浅虫温泉観光協会 小中高

お問い合わせ先 ☎017-752-3250
住所／〒039-3501 青森市浅虫字堂谷70
ウェブサイト／http://www.asamushi.com
アクセス／浅虫温泉:青い森鉄道「浅虫温泉駅」より徒歩約1分

浅虫温泉ねぶた運行体験（約90分）
浅虫温泉ねぶた祭で実際に使用するねぶたと太鼓を使い、ハネト・囃子・ねぶた引き等すべて生徒さんに体験して頂きます。
※小雨の場合でも決行します。
※事前学習用に紹介ビデオの提供と笛や楽譜の貸し出しを行っておりますのでお問い合わせ下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
5月～9月	18:30～20:00	50～350人	基本料金50,000円＋200円×参加人数

※新型コロナウイルス感染症対策についてはP50参照

①金魚ねぶた絵付け（約90分）
金魚ねぶたに墨書き、ロウ書きし、最後に色付けして完成させます。

②津軽凧（絵付90分／制作3時間30分）
下絵を用いて和紙に凧絵を描きます。制作の場合は、ヒバの骨に絵を貼りつけます。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
①	通年	7:00～20:00	10～350人	1,150円
②	通年	7:00～20:00	10～350人	1,000円～

現地からのメッセージ

津軽藩ねぷた村
助役
檜山和大さん



「ヤーヤードー」のかけ声で始まる「弘前ねぷた祭り」を年中体験できる「津軽藩ねぷた村」。実物大の大型ねぷたと太鼓と笛と鉦のお囃子がお迎えします。みなさんで太鼓を叩いてお囃子の体験をしたり、「弘前（壁かけ）ねぷた」や「金魚ねぷた」の製作体験など「弘前ねぷた」をまるごと体験してください。

ねぶたやねぷたを体験できる宿泊施設です ●青森市浅虫温泉 南部屋・海扇閣 浅虫さくら観光ホテル他 P49参照 ●南田温泉 ホテルアップルランド P53参照

テーマ 02

教科とのかかわり

社会・音楽

津軽の伝統芸能 津軽三味線を学ぶ

学習のねらいとその効果

SDGsに関連した体験プログラム

＊ 津軽の風土が育んだ伝統芸能の魅力を感じる。
＊ 和楽器としての津軽三味線に関する知識を得る。
＊ 津軽の伝統的な楽器に触れ、実際の演奏を間近に聴くことで、青森の伝統芸能への関心を高める。
＊ 本場の演奏を聴き、実際に音出しするという体験を通じて、音楽を愛する心を育てる。
＊ 伝統的な音楽文化を理解し、尊重する態度を育成する。



津軽三味線



津軽三味線の曲弾き



「The津軽三味線」津軽三味線の大合奏が圧巻



人々の心に響く伝統芸能・津軽三味線

全国や世界から注目を浴びている 津軽三味線のルーツとは？

生きるために生み出された 独特の奏法と音色

明治時代初期、津軽地方一帯を門付けして歩いた「坊さま三味線」がルーツとされる津軽三味線。明治の末頃、弘前市の三味線師・斎藤尚晴が大阪で修行中、浄瑠璃の太棹三味線の影響を受けて改良したものと言われています。独特な音色を奏でる津軽三味線は、様々な奏法が開発されました。大正時代に入ると民謡興業の人気が高まり、三味線芸人たちの競争心を高め、一層多様な奏法が生み出されていきました。

たたきつけるような迫力のある奏法が生まれた背景には複数の説があり、吹雪の中の門付けでもよく聞こえるようにするためとも、マイクのない時代に観客を満足させるためとも伝えられています。津軽三味線の豪快かつ繊細な奥深い音色は、津軽の風土と歴史が育んできた伝統芸能なのです。

青森から全国へ、世界へ 受け継がれる、魂の音色

三味線の種類は、棹の太さにより細棹、中棹、太棹があります。皮が張ってある「胴」の部分が大きくなるほど音に迫力が増し、棹も太くなります。かつて門付けが多かった時代は、軽量の細棹や中棹が使われていましたが、独奏でダイナミックな演奏が中心となった現在は、太棹が使用される場合がほとんどです。

弾き手の感性・技巧により音色が異なり、即興性に富むダイナミックな奏法は、ジャズやロックにも共通したものがあり、若者にも絶大な人気があります。弘前で開催される「The津軽三味線」と題した祭典や、全国各地で開催される競技大会、コンテストには高校生も参加するなど、若々しいエネルギーが撥さばきに注がれています。

人々を惹きつける津軽三味線の奥深い音色を体験することは、津軽の歴史や風土を知り、青森の伝統芸能や音楽文化への関心を高めることにつながります。

体験プランの一例



津軽三味線の歴史や構造の特徴などを学ぶとともに、間近で生演奏を鑑賞します。
津軽三味線を実際に手に取り、音出しを体験することで、日本の伝統芸能に対する関心を高めるきっかけとします。

津軽藩ねぷた村（60～75分）

①津軽三味線の構造・歴史の説明（10～15分） → ②指導者の演奏を聴く（10～15分） → ③津軽三味線の音出し体験（30～45分） → ④指導者の演奏を聴く（10～15分）





津軽三味線会館（70分）

①津軽三味線の説明と演奏鑑賞 （20分）
↓
②津軽三味線の音出し体験（30分）
↓
③津軽三味線の歴史等を紹介する展示室の自由見学（20分）

津軽伝承工芸館（20分）

①津軽三味線の鑑賞
津軽三味線の生演奏を鑑賞





おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

津軽藩ねぷた村 小中高

お問い合わせ先 ☎0172-39-1511
住所／〒036-8332 弘前市亀甲町61
ウェブサイト／http://neputamura.com
アクセス／JR「弘前駅」よりバス「津軽藩ねぷた村」下車すぐ、大鰐弘前I.Cより車で約20分
営業時間／9:00～17:00
入村料／中・高校生350（団体300）円 ※団体は25人以上
※教育旅行団体は人数を問わず団体料金で対応。

新型コロナウイルス感染症対策実施

津軽三味線演奏体験（60～75分）

演奏を聴いた後に撥の持ち方、三味線の構え方、音の出し方を体験します。
※事前学習については、ご相談に応じますので事前にお問い合わせください。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
通年	9:00～17:00	10～40人	1,200円

※9名以下の体験はご相談ください。

津軽三味線会館 小中高

お問い合わせ先 ☎0173-54-1616
住所／〒037-0202 五所川原市金木町朝日山189-3
ウェブサイト／http://www.kanagi-gc.net/syami/index.html
アクセス／津軽鉄道「金木駅」より徒歩約7分
営業時間／4月～11月9:00～17:00
入館料／小・中学生250（団体200）円、高校生400（団体300）円
※団体は20人以上

津軽三味線体験（30分～）

プロから指導を受けて、音出しを体験します。
※入館料別 ※事前予約（7日前）が必要です。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料 金
4～11月	9:00～ 9:30 15:30～17:00	1～15人 それ以上はプラン有（要相談）	1人30分5,000円 2名以上1名加算につき500円 15名以上10%割引

※津軽三味線体験は新型コロナウイルス感染症の影響により現在休止中。状況をみて再開予定あり。要相談。

新型コロナウイルス感染症対策実施

発熱のある方はご入館をお断りしております。

津軽伝承工芸館 小中高

お問い合わせ先 ☎0172-59-5300
住所／〒036-0412 黒石市大字袋字富山65-1
ウェブサイト／http://www.tsugarudensho.com/
アクセス／JR「弘前駅」より車で約35分、黒石I.Cより車で約10分
営業時間／9:00～17:00
入館料／無料

新型コロナウイルス感染症対策実施

津軽三味線鑑賞（20分）

地元黒石市の三味線奏者の音色を鑑賞します。

受入期間	演奏時間	鑑賞人数	料 金
通年	9:00～17:00	25～80人	1,000円

現地からのメッセージ

津軽伝承工芸館館長
福士拓弥さん



津軽五大民謡のひとつ「津軽じょんから節」発祥の地、黒石。黒石市浅瀬石上川原が発祥の地と言われ、これまで数多くの民謡名人、名手を輩出してきました。そんな津軽民謡の真髄を堪能できるスポットが、黒石温泉郷エリアの津軽伝承工芸館「じょんから劇場」なのです。心にあたたかい黒石温泉郷で地元奏者が演奏する津軽三味線の音色をお楽しみください。

津軽三味線を鑑賞できる宿泊施設です ●南部屋・海扇閣 P49参照

テーマ 03

教科とのかかわり

歴史・美術

SDGsに関連した体験プログラム

縄文の歴史を学ぶ

学習のねらいとその効果

* 授業で習った古代の歴史の遺物を直に確認し、歴史への関心を深める。
* 自然とともに生きた古代の人々の知恵と自然に対する尊敬の気持ちを学ぶ。
* 縄文から弥生にかけての歴史と文化、生活の知恵と技術を学ぶ。
* 中世都市の生活と交易を学ぶ。



弥生人の足跡
（田舎館村埋蔵文化財センター）

縄文文化のイメージを覆したといわれる遺跡の数々とは？



想定復元された大型掘立柱建物（三内丸山遺跡）



風張1遺跡出土　国宝「合掌土偶」　写真提供/是川縄文館



三内丸山遺跡で火おこし体験

縄文人の営みを明らかにした青森における歴史的発見

日本最大級の縄文集落跡である特別史跡三内丸山遺跡は、約5,900年～4,200年前の縄文時代前・中期の集落跡で、長期にわたって定住生活が営まれていたことが分かっています。平成4年からの発掘調査では、竪穴建物跡や墓、盛土、貯蔵穴や道路跡などを発見。この調査で、集落の規模や、当時の自然環境などが明らかになりました。特に、大型掘立柱建物跡の存在は、三内丸山遺跡保存のきっかけになったといわれています。地面に穴を掘り、柱を建てて造られたこの巨大な建物跡には、直径・深さが約2m、穴の中心の間隔が4.2mの柱穴内に、直径約1mのクリの木柱が残っていました。どんな目的で造られたかはわかりませんが、物見やぐらや祭殿などであったと想定されています。重要文化財を含む土器や石器、土偶などは縄文時遊館の「さんまるミュージアム」に展示しています。

各地で次々と発見される縄文文化の痕跡

青森市の南東部にある小牧野遺跡は、土地造成と特異な配石で構築された縄文後期前半約4,000年前の大規模な環状列石を主体とする遺跡です。当時の精神生活や社会構造、墓制等を明らかにするとともに、土地の造成や多量な大型石の運搬・設置など、土木工事の実態を知る上で重要な遺跡です。

八戸市の南東部、新井田川（にいだがわ）沿いの台地でも、重要な縄文時代の遺跡が見つかりました。

昭和32年に国の史跡に指定され、広さは東京ドーム7個分もある広大な是川遺跡です。大正～昭和の初め頃にかけ、八戸市の泉山岩次郎氏、泉山斐次郎（いずみやまあやじろう）氏によって発掘が行われ、5,000点を超える貴重な遺物が出土しました。その後も八戸市教育委員会によって発掘調査が行われており、その成果は「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館」に収められています。

また、つがる市にある、縄文時代晩期の集落跡、亀ヶ岡遺跡は遮光器土偶の出土で知られています。「つがる市縄文館」には漆器やガラス玉など様々な出土品が展示されています。

縄文時代に端を発する歴史の流れは、稲作の伝来を証明する弥生時代、十三湊を拠点に交易を行った豪族・安藤氏の中世へとつながっていきます。青森で独自に培われた郷土文化のルーツは、遥か縄文時代から始まっていたのかもしれません。



縄文学びの舎・小牧野館カラフルオーブンねんど体験

体験プランの一例

考古学史を書き換えた特別史跡三内丸山遺跡や国指定史跡是川遺跡を見学し、縄文時代の人々の知恵と文化にふれることで歴史への関心を深めます。さらに、古代人の暮らしから自然と共存することへの意味を考えます。



三内丸山遺跡センター

日本最大級の縄文集落の遺跡を巡りながら、縄文時代の生活の知恵について学びます。



①縄文シアター（10分）
三内丸山遺跡センターのシアターで遺跡の概要を映像で紹介

②三内丸山遺跡の見学（50分）
ボランティアガイドが遺跡内を案内（1クラスに1名程度）（要事前予約）

③さんまるミュージアムの見学（30分）
重要文化財のほか、縄文人の生活を再現した展示を自由に見学

又は

④体験工房（30～100分）
縄文時代の暮らしやもの作りを体験

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

是川縄文の里から「学ぶ」ことの喜び、「生きる」ことの尊さを知る。縄文人たちの知恵・技・祈りを体感する。

2時間コース①～②or③、3時間コース①～③

①是川縄文館見学（60分）
縄文是川ボランティアのガイドで常設展示室（もしくは企画展示室）を見学。国宝・合掌土偶もここで見ることができます。

②是川遺跡・里山見学（60分）
縄文是川ボランティアのガイドで一王寺遺跡と是川遺跡記念碑を見学します。雨天時の対応：是川縄文館内で火おこし体験を行います。

③体験学習（60分）
滑石を削って勾玉を製作し、縄文人の技や美を追体験します。

小牧野遺跡（国指定史跡）

大規模な環状列石（ストーンサークル）を主体とした遺跡の見学やガイドも可能。

①小牧野遺跡（40分）

②青森市小牧野遺跡保護センター縄文の学び舎・小牧野館（40分）





八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 小 中 高

2009年に国宝に指定された「合掌土偶」や、重要文化財となっている是川遺跡と風張1遺跡の縄文時代の土器や漆器など多数展示されております。

お問い合わせ先 ☎0178-38-9511
住所／〒031-0023 八戸市大字是川字横山1
ウェブサイト／https://www.korekawa-jomon.jp
アクセス／JR「八戸駅」からバス利用、南部バス（J42線、J112線に乗車）是川縄文館下車
開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日／月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）、祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は開館）、年末年始
入館料／小・中学生50円、高校生150円（団体20名以上で割引あり）

新型コロナウイルス感染症対策実施





八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

三内丸山遺跡センター 小 中 高

お問い合わせ先 ☎017-766-8282
住所／〒038-0031　青森市大字三内字丸山305
ウェブサイト／https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp
アクセス／JR「新青森駅」よりねぶた号で約15分、青森LCより車で約5分、市営バス「青森駅前」6番バス停より「三内丸山遺跡前」
開館時間／ 9:00～17:00（GW中と6/1～9/30は18:00まで）
※入場は終了時間の30分前まで
休館日／毎月第4月曜日（祝日の場合はその翌日）、12/30～1/1
入館料／一般410円（団体330円）、高校生・大学生200円（団体160円）
中学生以下無料
※特別展の観覧料は別途、詳細はお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症対策実施
・他の人と2m以上の距離を空けてお静かにご見学ください。
・展示品（遺跡内の復元物含む）や館内の備品にお手を触れないでください。

A. ボランティアガイドによる遺跡見学（50分）
※対応可能なクラス数等については要相談。※事前に施設パンフレットの送付可能です。

B. 再生琥珀（こはく）のペンダント作り（50分）
再生した琥珀を紙やすりで磨いてペンダントを作ります。

C. 組みひもと火おこし（30分～50分）
5本のよりひもを三つ編み状に編んでブレスレットなどを作り（所要時間30分）と火おこしの基本（所要時間20分）を体験します。※組みひも作りのみの参加も可。

D. 板状土偶作り（70分）
出土した板状土偶を模し、粘土で土偶を作ります。（持ち帰りできます）

E. ミニ土偶作り（50分）
粘土で小型の土偶を作ります。（持ち帰りできます）

F. 編布（あんぎん）作り（100分）
出土した布を模し、編布台を使って編み上げます。

G. 縄文ポシェット作り（100分）
梱包用の紙バンドを材料に、編みかごを作ります。

H. 勾玉（まがたま）ペンダント作り（50分）
滑石を紙やすりで勾玉状に削り、ペンダントを作ります。
※VTR又はDVDの貸出しや体験内容についてはご相談に応じます。

	受入期間	対応可能時間	体験人数	料　金
A	通年	9:00～16:00（10月～3月は15:30まで）		無料
B	通年	9:30～15:30（修了）	100人	1,570円
C	通年	9:30～15:30（修了）	100人	220円
D	通年	9:30～15:30（修了）	100人	540円
E	通年	9:30～15:30（修了）	100人	330円
F	通年	9:30～15:30（修了）	20人	540円
G	通年	9:30～15:30（修了）	20人	540円
H	通年	9:30～15:30（修了）	100人	330円

田舎館村埋蔵文化財センター 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0172-43-8555
住所／〒038-1111　田舎館村大字高樋字大樋63
ウェブサイト／http://www.vill.inakadate.lg.jp/_common/themes/inakadate/maibun_hp/
アクセス／弘南鉄道「田舎館駅」より徒歩約10分
開館時間／10:00～17:00（入館は16:30まで）
入館料／小学生100円、中・高校生200円（団体15人以上で割引あり）

施設見学（60分）
遺構露出展示室（史跡「垂柳（たれやなぎ）遺跡」で発見された水田跡と同年代の「高樋（3）遺跡」の水田跡を直に歩けます）や発掘された遺物（関係資料）等を見学します。

受入期間	体験可能時間	体験人数
通年	10:00～17:00	15～100人

縄文の学び舎・小牧野館 小 中 高

お問い合わせ先 ☎017-757-8665
住所／〒030-0152 青森市野沢字沢部108-3
ウェブサイト／https://komakinosite.jp
アクセス／JR「青森駅」から車で約30分
開館時間／9:00～17:00　休館日／12月29日～翌年1月3日
入館料／無料

つがる市木造亀ヶ岡考古資料室（縄文館） 小 中 高

国の重要文化財である遮光器土偶が出土したことで知られる亀ヶ岡遺跡。遺跡近くにある木造亀ヶ岡考古資料室では、皿形、壺形の土器など、多数の出土品が展示されています。

お問い合わせ先 ☎0173-45-3450
住所／〒038-3283　つがる市木造舘岡屏風山195
アクセス／つがる市木造からバス利用、十三線で「館岡」下車、徒歩約15分
開館時間／9:00～16:00
入館料／ 小・中学生50円、高校生100円、大人200円
※15名以上半額

陶芸教室（90分）
粘土から形が出来ていく実感がわき、手仕事の大切さがわかっていきます。
※作品は1ヶ月ほどかけて焼成し、発送します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:30～15:00	最少10名から最大100人程度	2,000円（消費税込）

市浦歴史民俗資料館 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0173-62-2775（市浦地域活性化センター）
住所／〒037-0403 五所川原市十三土佐地内（十三湖・中の島）
アクセス／JR「五所川原駅」から車で約1時間15分。JR「五所川原駅」から弘南バス十三線乗車、「中の島公園入口」下車、徒歩5分で到着。
開館時間／9:00～16:00　期間／4月～11月、無休
休館日／冬期間（12月～3月）
入館料／大人310円（260円）、大学生220円（160円）、高校生以下無料
※（　）内は、20名以上の団体割引料金。

現地からのメッセージ



三内丸山応援隊
事務局
石崎真澄さん

私たち三内丸山応援隊は、遺跡のガイドのボランティアや体験指導の活動をしております。修学旅行や校外学習でおいでになる子供たちの思い出づくりのお手伝いができることを誇りに活動しております。ゆったり流れる時間、自然がささやく声、三内丸山遺跡はやさしくつつんでくれます。私たちに声をかけて下さい。お待ちしております。

テーマ 04

教科とのかかわり

理科・社会

世界自然遺産「白神山地」を学ぶ

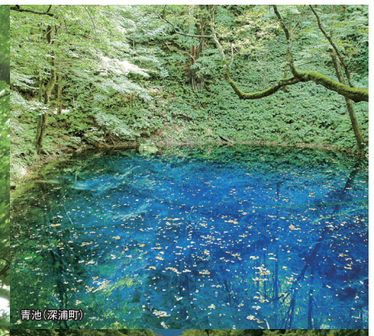
SDGsに関連した体験プログラム

学習のねらいとその効果

＊ 自然界の共生や水の循環など多岐にわたるブナ林の役割を学ぶ。
＊ 山や海と人間との深い関わりを学び、自然保護と環境保全の意識を高める。
＊ 自然の偉大さや生命力を体感し、自然や生命に対する感謝の心、尊敬の気持ちを養うきっかけとする。
＊ これからの自然環境の保護と活用を考えるきっかけとする。
＊ 日本の林業の将来、地球温暖化問題、循環型社会などを考えるきっかけとする。

「白神山地」が世界遺産に登録された理由とは何だろう？




青池（深浦町）


くろくまの滝（鰺ヶ沢町）

ブナ林散策道（西目屋村）

世界最大級のブナの原生林が広い範囲に分布

白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万haに及ぶ広大な山岳地帯です。人為の影響をほとんど受けていないブナの原生林とその生態系が世界的に評価され、平成5（1993）年、中心部の1万6,971haが世界遺産に登録されました。このうち1万2,627haが青森県側で、東は西目屋村、西は深浦町、北は鰺ヶ沢町にまたがっています。

平成30（2018）年12月に世界自然遺産登録25周年を迎えた白神山地。白神山地ビジターセンターでは、初心者から上級までトレッキング、登山、沢登り自然体験、ネイチャークラフト、ネイチャースクールなどニーズに合わせたプログラムを開催しています。

天然のブナ林が広い範囲で分布する白神山地は、降水の貯留、河川への流水量の平準化、水質浄化、地表浸食防止などの自然機能が高いのも特徴の一つ。大川、暗門川、赤石川、追良瀬川、笹内川などの源となっています。また、地質は約9,000万年前にできた花崗岩を基盤とした堆積岩と貫入岩類で、深い谷が入り組んでいるため急傾斜が多く、落差の大きな滝も点在しています。その存在は、豊かな水源として、優れた景勝地として、後世に残すべき貴重な自然遺産であることを証明しています。

自然の生態系や水の循環をブナ林から学ぶ

白神山地に広がるブナ林には、ミズナラ群落、サワグルミ群落など、たくさんの植物が生育しています。その中には動物のエサとなる植物が多く、ツキノワグマ、ニホンザル、クマゲラ、イヌワシなど多様な動物も生息。降雨はそうした動植物を育みながら谷川、海へと染み出し、再び山地に恵みを与えます。こうした生命の循環を体感することは、自然保護・環境保全の意識を高め、林業の将来、地球温暖化問題、循環型社会などを考えるきっかけを導き出す糸口になります。

西目屋村、深浦町岩崎地区、鰺ヶ沢町には、それぞれトレッキングコースが設けられており、ガイド団体も多数あります。参加者の体力や人数、時間や天候など、様々な条件に応じたコース設定が可能です。ブナの天然林の中でのトレッキングは、自然の神秘や偉大さを感じ、生命の尊さを考える機会となります。

体験プランの一例

白神山地の四季、生態系、人との関わりなど、大型映像や資料展示を見学しながら学習します。トレッキングでは、白神山地の生態系を間近に観察し、圧倒的な迫力を持つ大自然を体感します。



白神山地ビジターセンター（半日コース）

①映像体験ホール（35分）
世界最大級のブナ天然林やその豊富な自然に養われる動植物を映像で鑑賞

②展示ホール等見学（40分）
自然環境と生活文化を紹介する展示ホール等を見学
※希望する場合、解説員が無料で案内



アクアグリーンビレッジANMON（トレッキング 5月頃～10月頃）

半日コース
長靴に履き替えた後、解説員の道案内で白神山地をトレッキングします（解説員1名につき、学生10～13名に対応します）。トレッキングは、グループに分かれて各解説員とともに出発し、終了後は全員でトレッキングの成果をふり返ります。

1日コース
アクアグリーンビレッジANMONで昼食をとった後、長靴に履き替え、解説員の道案内で白神山地をトレッキングします。終了後は、全員でトレッキングの成果をふり返ります。

トレッキングの雨天時の対応：
救急法の実習や野外活動に対応可能なザイルワークの実技が可能です。





［服装の注意］
虫除けのため、長袖・ズボン着用。また季節により防寒具等の上着が必要。


白神山地トレッキング（鰺ヶ沢町）


十二湖トレッキング（深浦町）



おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

白神山地ビジターセンター 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0172-85-2810
住所／〒036-1411　西目屋村大字田代字神田61-1
ウェブサイト／http://www.shirakami-visitor.jp
アクセス／JR「弘前駅」よりバスで約55分
「西目屋村役場前」下車 徒歩約3分
開館時間／8:30～17:00　入館料／無料

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年（但し、屋外は5月上旬～10月）	8:30～17:00（4月～10月）9:00～16:30（11月～3月）	20人～200人	メニューによる

Ⓐビジターセンターインタープリテーション（60～120分）
主に白神山地ビジターセンター館内で、大型映像や展示物により白神山地の誕生から生物・植物の営みを学びます。

Ⓑトレッキングインタープリテーション（60～120分）
ブナ林散策道やブナ巨木ふれあいの径をトレッキングします。マザーツリー等の景勝地を含めることが可能です。

Ⓒインタープリテーションフィールド（60～120分）
白神山地ビジターセンターが管理する遊々の森で、自然観察やネイチャーゲームを体験します。

自然観察トレッキング（西目屋村） 小 中 高

お問い合わせ先【受付窓口】アクアグリーンビレッジANMON
☎0172-85-3021
（冬期間は、「ブナの里白神館 TEL.0172-85-3011」まで）
住所／〒036-1424　西目屋村大字川原平大川添417
ウェブサイト／http://www.kumagera.net
アクセス／JR「弘前駅」より直通バスで約90分

原生的なブナ林を解説員の丁寧でわかりやすい説明を受けながらトレッキングし、白神山地を楽しみます。

トレッキング所要時間	受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
1～4時間	5月～10月	コースにより異なる	ガイド1名につき15名まで（コースによってはガイド1名につき10名まで要相談）	ガイド1人につき 60分10,000円 90分～120分12,000円 120分～150分13,000円 150分～180分15,000円 210分～240分17,000円

鰺ヶ沢町政策推進課 小 中 高

お問い合わせ先【受付窓口】☎0173-72-2111
住所／〒038-2723　鰺ヶ沢町大字ーツ森町字西赤石山
ウェブサイト／http://www.ajiiku.jp/shirakami.html
アクセス／JR「鰺ヶ沢駅」よりくろくまの滝駐車場まで車で約40分

赤石渓流とくろくまの滝から学ぶ白神の森の恵み（60分）
白神山地を源流とする「赤石渓流」と県内最大級かつ日本の滝百選に選ばれている「くろくまの滝」周辺を散策し、ブナやミズナラ、カツラなど白神の豊かな植生に触れ、水の循環を体感します。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
5月下旬～11月上旬	9:00～15:00	1回あたり1～30人（ガイド1人につき10人程度まで）	ガイド1人につき20,000円（税込）

十二湖トレッキング（深浦町・岩崎地区） 小 中 高

お問い合わせ先【受付窓口】アオーネ白神十二湖 ☎0173-77-3311
住所／〒038-2206　深浦町大字松神字下浜松14
ウェブサイト／https://shirakami-jyuniko.jp/
アクセス／JR「十二湖駅」からバスで約5分

新型コロナウイルス感染症対策実施

白神山地の窓口ともいえる十二湖周辺を散策し、ブナ林などの自然の生態系を学び、保全・育成のあり方を考えます。

トレッキング所要時間	受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
1～6時間	通年	8:00～16:00	要相談	ガイド1人につき 1時間11,000円 2～3時間13,200円 3～5時間16,500円 6時間22,000円

現地からのメッセージ



あじがさわ白神山地ガイド
古川 隆さん

四季折々につき、様々な彩りを見せてくれる白神山地。太古から変わらぬ圧倒的スケールは多くの人々を魅了してきました。そんな広大なブナの森と共に生活してきたガイドの私達による、自らの経験をもとにした解説は面白くてためになると好評です。ぜひ一度、できれば季節をかえて二度三度と足を運んでみてください。ガイドの私達と共に山の中を歩き、自らの五感で体験することにより、自然や自然との共生について何か答えが見つかるかもしれません。

テーマ 05

教科とのかかわり

理科・社会

SDGsに関連した体験プログラム

人と自然の共生を考える

学習のねらいとその効果

＊ 自然観察のための知識を得て、自然の恵みを楽しみ、自然環境への関心を高める。

＊ 動植物の生態や自然を守るための取組、漁業資源を保護・管理するための対策などについての知識と理解を深める。

＊ 環境を守るためのマナーとモラルについて学び、自然との関わり方について考える。



種差天然芝生地


小川原湖



蕪島

三陸復興国立公園種差海岸、大須賀海岸の鳴砂で海洋環境を学ぶ

太平洋を望み、全国屈指の水産都市であり、北東北随一の工業都市として知られる八戸市。2013（平成25）年5月に三陸復興国立公園に指定された約259haにも及ぶ種差海岸は、下北半島から続く砂浜の海岸線と、三陸海岸の磯浜が交錯する位置にあり、荒々しい岩や広い砂浜、天然の芝生がある景勝地です。この海岸の一部である大須賀海岸は鳴砂の浜として知られており、日本の渚百選にも選ばれ、多くのボランティアの清掃活動により、その環境が保たれています。

また、ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている蕪島（かぶしま）は、3月上旬から8月頃までの間、約3～4万羽ものウミネコが飛び交い、間近でその生態を観察することができる国内唯一の場所です。種差海岸一帯では、美しい自然を見るだけでなく、自然保護の大切さと難しさ、自然の脅威について学ぶことができます。

資源保護への様々な努力と一次産業の大切さを知る

縄文時代、太平洋の入り江だったという県内最大の湖・小川原湖。別名「宝沼」と呼ばれるこの湖は、海水と淡水が混じった汽水湖で、38種の魚類や150種もの野鳥が生息飛来するなど、貴重な動植物の宝庫となっています。内水面の漁場としても優れ、中でもシラウオとワカサギは全国一位、シジミ貝は全国三位の漁獲量を誇っています。地元の小川原湖漁協では資源保護のため、動力操業の禁止、漁具の規制、シジミの稚貝放流などの種苗活動等、様々な対策を実施。「宝沼」を守りながら安全・安心な魚貝類の安定供給に努めています。

体験プランの一例

種差海岸では地元のガイドと一緒に景勝地を散策、小川原湖では地引き網体験をし、資源管理と自然保護について学びます。


大須賀海岸


葦毛崎展望台



種差海岸体験

1.地元の漁師さんから学ぶ

①漁の講義（60分）
種差漁港の漁師さんから漁に関する講義や東日本大震災時の津波の話を聞き、自然の脅威や一次産業について学ぶ。

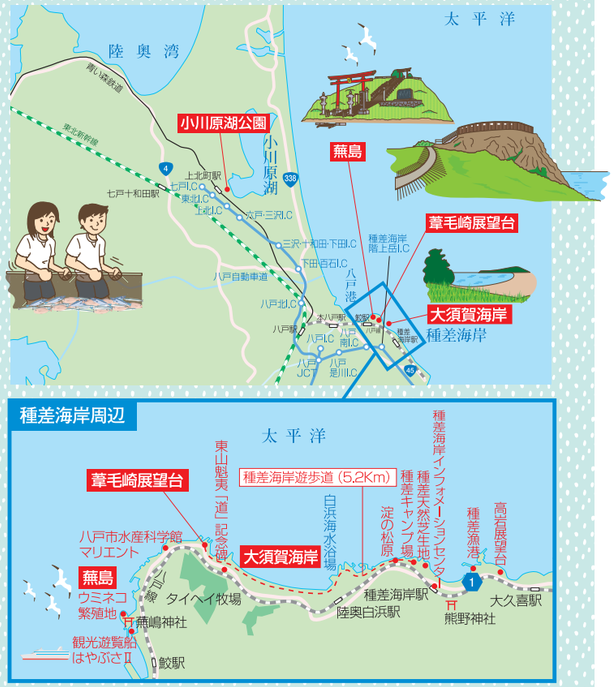
②漁師鍋（60分）
とれたての魚を使用して作った漁師鍋をいただき、その季節、時期にとれる魚について学ぶ。

2.種差海岸の動物・植物観察

①蕪島ウミネコ観察（約60分）
ガイドから蕪島やウミネコの保護の取組みを聞き、営巣の様子などを観察

②植物観察（120分）
ガイドと共に種差海岸を散策し、種差特有の植物を観察。また、東日本大震災時の津波被害など自然災害についての話も聴くことができる。





種差海岸周辺

おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

東北町観光協会 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0176-56-4148
（東北町 商工観光課内）
住所／〒039-2492　東北町上北南4-32-484
ウェブサイト/http://www.town.tohoku.lg.jp
アクセス／青い森鉄道「上北町駅」より車で約5分

小川原湖地引き網体験（3時間）

小川原湖の幸（鯉、鮒、うぐい、もくず蟹など）を地引きした後、自分達で引いた魚をバーベキューハウスで調理し、食べることができます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
4月下旬～10月中旬	10:00～14:00	50～300人	1回100,000円、調理代は別途（要相談）

※毎年、東北町桜まつり（4月下旬～5月上旬）の1日間、参加無料の地引き網体験、試食会を実施しています。



（株）ACプロモート 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0178-38-8420
住所／〒031-0841　八戸市大字鮫町字棚久保14番地124
ウェブサイト/https://acpromote.jp
アクセス／JR「種差海岸駅」より徒歩約3分、蕪島より車で約12分

地元の漁師さんから学ぶ（約2時間）

種差漁港で地元の漁師さんから一次産業や震災体験について学びます。

※体験時間はご要望に応じます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:00～14:00	100人程度まで	1,500円～2,000円

種差海岸の動物・植物観察（約3時間）

種差海岸を散策しながら、蕪島でのウミネコ観察や種差海岸の植物観察を行うほか、自然の脅威についても学びます。

※体験時間はご要望に応じます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
2月下旬～10月	9:00～17:00	100人程度まで	1,000円

※蕪島でのウミネコ観察は3月上旬～8月

現地からのメッセージ



株式会社ACプロモート
代表取締役
町田　直子さん

種差漁港の漁師さんが、自然や魚の習性、先輩から受け継がれてきたこと、仲間たちと上手くやっていくには…などをお話してくれます。厳しい自然環境の中での漁体験から培われてきた強さ、優しさ、生きていく楽しさを伝授してくれます。気が付くと環境問題について、しっかり考えさせられます。そんな漁師さんが目の前の海で獲れたお魚を披露してくれ、捌き方などを教えてもらいみんなで楽しく漁師鍋を作ります。この地域ならではの漁師さんたちの暮らしぶりを垣間見ることにより自然環境を学ぶプログラムです。

テーマ 06

教科とのかかわり
理科・社会

十和田湖・奥入瀬渓流 八甲田の自然を観察する

学習のねらいとその効果

＊ 自然観察のための知識を得て、自然の恵みを楽しみ、自然環境への関心を高める。
＊ 動植物の生態や自然を守るための取組、漁業資源を保護・管理するための対策などついての知識理解を深める。
＊ 環境を守るためのマナーとモラルについて学び、自然との関わり方について考える。

SDGsに関連した体験プログラム

人と自然が造りだした
美しい姿から
見えてくるものとは？


新緑の十和田湖


八甲田連峰 田茂萢岳山頂からの眺め


紅葉の十和田湖


新緑の奥入瀬渓流

大自然が織りなす四季折々の風景

全国から観光客の集まる十和田湖・奥入瀬渓流は、十和田八幡平国立公園にあります。昭和11（1936）年に十和田国立公園として指定され、その後、昭和31（1956）年に八幡平地域が追加指定されて現在の名称になりました。この国立公園の中でも、特に十和田湖から八甲田連峰にかけての景観は変化に富みます。公園全体が那須火山帯に属し、典型的な二重式カルデラ湖の十和田湖が深く青い水をたたえます。豊かな表情を持つ奥入瀬渓流、厳しさと優しさを併せ持った八甲田連峰とともに、四季折々に美しい景色を見せてくれます。国立公園は、貴重な自然を保護しながら適正な利用ができるように、特別保護地区、特別地域、普通地域に区分され、様々な規制のもとに管理されています。大自然にふれられるありがたさや、自然保護の大切さを学びとることができます。

多くの動植物が生息する“母なる大地”の国立公園

十和田湖は標高400mにある湖で、最深部は水深327m。湖には約20種の魚類が生息し、中でもひめますは、明治36（1903）年に北海道の支笏湖から移入した卵の孵化に成功したものとして知られています。湖を取り巻く内壁には火山活動によって堆積した地層が見られ、数万年という歴史の重みを感じさせます。十和田湖子ノ口から約14km、約200mの高低差のある奥入瀬渓流沿いには、トチノキ、カツラを中心とした落葉広葉樹林があります。子ノ口から焼山にかけての遊歩道を散策しながら、「銚子大滝」や「阿修羅の流れ」など、躍動感あふれる滝や渓流の景観を楽しむことができます。

八甲田連峰は、東北特有のブナ林とアオモリトドマツ林に覆われ、広大な高層湿原のゆるやかな斜面にはヒナザクラ、チングルマなどが生育。八甲田連峰には、国民保養温泉の指定第一号を受けた酸ヶ湯温泉などがあります。自然の声に耳を傾け、環境について考えるきっかけとします。

体験プランの一例



遊覧船で十和田湖上から、ロープウェーで上空からと、陸上からの眺めとはひと味ちがった景観を楽しみます。
奥入瀬渓流の遊歩道散策では、美しい自然を間近で観察します。



八甲田ロープウェー
ロープウェーに乗って山頂まで片道10分。標高が上がるとともに変化する植生を観察

バス移動（60分）

奥入瀬渓流 石ヶ戸発〜銚子大滝着
約8.8kmの景観を楽しみながら散策



バス移動（10分）

十和田湖遊覧船 子ノ口発〜休屋着
風景や伝説など、十和田湖についての説明を聞きながら遊覧船で周遊



徒歩移動（2〜3分）

十和田湖畔自由散策
南部藩の霊場として人々の信仰を集める十和田神社や、高村光太郎の晩年の力作・乙女の像などを散策



雨天日は、こちらもおススメ！

十和田湖観光交流センター“ぷらっと”

1階は、観光案内のほか十和田湖ひめますの展示、休憩スペースがあり、2階は十和田湖の発展に貢献した人々を紹介した展示スペースや十和田湖を一望出来るバルコニーがあり、交流室を備えた観光施設となっています。

お問い合わせ先 ☎0176-75-1531
●住所／〒018-5501 十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486番地
●ウェブサイト/http://www.city.towada.lg.jp
●アクセス/JR「新青森駅」よりJRバス約2時間50分、JR「八戸駅」より約2時間15分
●開館時間/9:00〜17:00（通年）
●入館料/無料



十和田ビジターセンター

十和田八甲田地域の自然を春夏秋冬に分け写真や標本、模型を使って「見て、聞いて、触れて」楽しめる施設となっております。また、十和田湖を望む絶好のロケーションとなっていて、ゆったりとした時間を過ごせます。

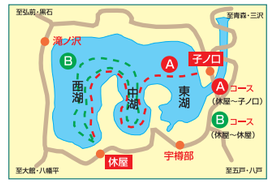
お問い合わせ先 ☎0176-75-1015
●住所／〒018-5501 十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486番地
●アクセス/JR「新青森駅」よりJRバス約2時間50分、JR「八戸駅」より約2時間15分
●開館時間/9:00〜16:30 ●入館料/無料



おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

十和田湖遊覧船 小中高

十和田観光電鉄株式会社
お問い合わせ先 ☎0176-75-2909
☎0176-75-2201
ウェブサイト/http://toutetsu.co.jp/ship.html
住所／〒018-5501 十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486（共通）
アクセス／JR「新青森駅」よりJRバス約2時間45分、JR「八戸駅」よりJRバス約2時間15分
運航時間／季節により変更あり、要確認
※新型コロナウイルス感染症対策についてはホームページをご確認ください。



十和田湖湖上遊覧体験（50分）

二重式カルデラ湖の誕生と十和田湖に伝わる伝説、歴史等を船内案内にて学習でき、また、国立公園、天然記念物に指定されている十和田湖の自然美を体験できます。

運航期間	運航時間	遊覧船料金
4/下旬〜11/上旬	8：15〜16:15 ※季節によって異なります。	小学生620円　中・高生920円

八甲田ロープウェー 小中高

お問い合わせ先 ☎017-738-0343
住所／〒030-0188　青森市大字荒川字寒水沢1-12
ウェブサイト/http://www.hakkoda-ropeway.jp
アクセス／JR「新青森駅」よりJRバス約60分「八甲田ロープウェー駅前」下車、または青森市街より車で約30〜40分、または青森中央I.Cより車で約30分
営業時間／9:00〜16:20（11月中旬〜2月は15:40まで）
料金／往復:小学生（団体）550円、中学生（団体）700円、高校生（団体）950円
※団体は30人以上
小人（通常）700円、大人（通常）2,000円

高山植物観察トレッキング（約60分）

四季折々の高山植物の植生や特徴、変化を観察しながらのトレッキング。山頂公園を起点とした自然遊歩道「ゴードライン」を体験します。ロープウェーは、山麓駅から標高1,324mの八甲田山、田茂萢岳山頂までの2,459mを10分ほどで結んでいます。

散策期間	散策可能時間
6月〜10月	9：00〜16：40（ロープウェー下り最終）

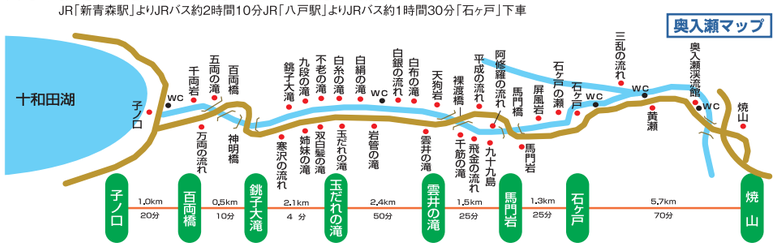
奥入瀬渓流 小中高

お問い合わせ先 ☎0176-74-1233（奥入瀬渓流館）
住所／〒034-0301　十和田市大字奥入瀬字栃久保183
ウェブサイト/http://www.oirase.or.jp/keiryu/keiryu.htm
アクセス／JR「七戸十和田駅」よりバス約60分「焼山」下車、または黒石I.Cから車で約60分
JR「新青森駅」よりJRバス約2時間10分JR「八戸駅」よりJRバス約1時間30分「石ヶ戸」下車

遊歩道散策 ●散策期間／4月中旬〜11月

十和田湖畔の子ノ口から焼山に至る約14kmの渓流。千変万化の水の流れが生む躍動感あふれる景観が見事です。なかでも幅20m、高さ7mの「銚子大滝」は、奥入瀬川本流にかかる唯一の滝で、奥入瀬を遡上して十和田湖に入ろうとする魚を拒む滝でもあります。奥入瀬渓流館、奥入瀬湧水館、渓流の駅おいらせなど、施設も充実しています。

奥入瀬マップ




コケの観察

現地からのメッセージ

十和田湖自然ガイドクラブ
事務局
吉崎明子さん



奥入瀬渓流は約1万5千年前、十和田湖外輪山の一番低い壁を突き破り流れ出し、その膨大な水流がU字型の谷を作り、渓流を侵食した結果、本流と支流の河床の間に大きな落差が生じ数多くの美しい滝ができました。自然は長い年月の間に、素晴らしい景観を作り出し、そこに訪れる人々を魅了し飽きさせません。特別保護地区の奥入瀬渓流に沿った遊歩道は約14km（子ノ口〜焼山）ありますが、徒歩による探勝を生徒さん達にお勧めしております。

テーマ 07

教科とのかかわり

理科・保健体育

青森の雪とふれあい 冬を楽しむ

SDGsに関連した体験プログラム

学習のねらいとその効果

* フィールドワークを通して冬の自然を観察する。
* 雪とふれあい雪と親しむ中で、冬の自然を学ぶ。
* 五感を解放して冬の自然の美しさを体感する。
* 自然の美しさや不思議にふれることにより、豊かな感性や自然に対する優しさ、命を大切に思う心を育む。
* スキーの技術を習得して技能を高め、体力を育成する。


ウサギ、カモシカの足跡


冬の白神山地体験

冬の雪国で育まれる、生命の営みとは？

雪の白神山地を楽しみながら自然と命の尊さを肌で感じる

真っ白な雪に覆われる冬の白神山地。広大な森に広がるブナをはじめとする木々は、すっかり葉を落とし、緑深い夏の表情とは一変し、静寂に包まれた白い世界が広がります。しかし、そこには雪に覆われながらも命を育む動物や植物の存在を、しっかりと感じとることができます。

雪の山を歩くには、かんじきが最適。または西洋かんじきのスノーシューを履いて、ブナ林の散策やアニマルトラッキングに出掛けてみましょう。カモシカや野ウサギなど、動物たちがエサを求めて歩いた足跡を見つけることができるかもしれません。動物たちの足跡は、雪山での行動パターンや生活の様子を知る手がかりとなります。

なかなか自然とふれあう機会が少ない今の時代、冬の白神山地は自然の素晴らしさを感じ、生命の尊さを学ぶ最高の舞台となります。

※アニマルトラッキング…雪の上の動物たちの足跡から、何の動物か、何をしていたのかを追跡すること。

ウィンタースポーツのメッカ 初心者でも気軽にスキー体験

本州の最北端に位置する青森は、日本海側の津軽地方を中心に春先までウィンタースポーツを楽しめるスキー場が点在。アルペンやクロスカントリーなど、これまでに多数の名選手を輩出しているスキー王国としても知られています。

上級者向けだけではなく、初心者向けのスキー場もあるので、これまでにスキーをしたことがないという子供たちでも大丈夫。基礎からしっかりと学べます。青森県内にある様々なスキー場では、インストラクターが、それぞれのレベルに合わせた丁寧な指導を行っています。

普段、雪遊びをする機会の少ない地域の子供たちにとって、雪国でスキーを学び、雪に親しむことは、思い出深い体験となることでしょう。


冬のブナ林


広いゲレンデでしっかりとスキーを学びます

体験プランの一例

深い雪で覆われる厳冬の白神山地。
解説員（ガイド）とともにブナの森を歩き、
白神山地の冬を体験します。



服装の注意：
帽子・耳当て・手袋・防寒用ジャンパー・防水のズボン・厚手の靴下・防水防寒の靴、又は冬用の長靴が必要。かんじき・スノーシューは現地で準備。



県内各地で展開されているスキー教室では、初めてスキーを体験する人からテクニカルに滑りたい人まで、どんなレベルの人でも対応可能です。

冬の白神山地体験（2時間～）

西目屋村での「スノートレッキング」、鰺ヶ沢町での「岩木山・スノートレッキング」、深浦町での「十二湖スノーハイク」など、様々なコースや体験内容が準備されています。

①コースの説明・かんじきやスノーシューの装着指導（約20分）
同行する解説員（ガイド）からコースについての説明を受け、靴や長靴の上からかんじき、または適応荷重にあったスノーシューを装着

②雪原・雪山体験（90分～）
解説員（ガイド）の案内で雪の上を歩きながら自然を観察、五感で冬の魅力を体感







スキー教室（時間は学校側の要望に応じます）県内各スキー場

①クラス分け
準備体操の後、これまでのスキー経験やレベルによるクラス分け

②スキー講習
プルークボーゲン（曲がる・止まる）、パラレルターン（平行のまま滑る）、ウェーデルン（小回り）など、技術の向上を目標とするクラス分けのレッスンを受講







おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

スノートレッキング（西目屋村） 中 高

お問い合わせ先【受付窓口】①4月下旬～11月上旬
アクアグリーンビレッジANMON
☎0172-85-3021
【受付窓口】② 11月上旬～4月下旬
ブナの里 白神館
☎0172-85-3011
ウェブサイト/http://www.kumagera.net
アクセス／JR「弘前駅」より直通バスで約90分
アクセス／JR「弘前駅」から車で約30分

世界自然遺産「白神山地」の純白な大自然の中をスノーシューを履いてブナ林等の新雪をゆっくりと歩き、冬ならではの体験をお楽しみ出来ます。
※昼食に関しては事前にご相談下さい。 ※保険に加入

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
1月～3月（要問合せ）	2時間～（応相談）	最大30人（解説員1人につき10人）	団体の場合、要相談（散策ガイド料、保険料、スノーシューレンタル含む）

十二湖スノーハイク（深浦町） 中 高

お問い合わせ先【受付窓口】アオーネ白神十二湖 ☎0173-77-3311
ウェブサイト／http://www.shirakami-jyuniko.jp
アクセス／JR「十二湖駅」から車で約5分

冬でも凍ることのない「青池」をはじめとする十二湖や、深い雪の中で野ウサギやカモシカなどの足跡を観察することもできます。
※1グループに1人のガイドがつきます。

新型コロナウイルス感染症対策実施
※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
1月～3月（要問合せ）	8：30～15：30（3時間）	最大20人（10人で1グループ）	ガイド1人につき13,200円（長靴、かんじき、保険料含む）

スキー教室 小 中 高

●奥入瀬渓流温泉スキー場☎0176-74-2008 P57参照　●大鰐温泉スキー場　☎0172-49-1023 P52参照

現地からのメッセージ

アクアグリーンビレッジ ANMON
木村 崇さん



北の空から舞い降りてくる雪が、やがて野や山を白一色に染め、世界自然遺産白神山地に、閉ざされた静寂の冬がやってきます。雪国の私達の生活にはちょっと邪魔な雪も、遊び方次第では大いに楽しむ事ができます。世界自然遺産白神山地の雪で冬遊びを体験してみませんか？

テーマ 08

教科とのかかわり
理科・社会

エネルギーと科学について学ぶ

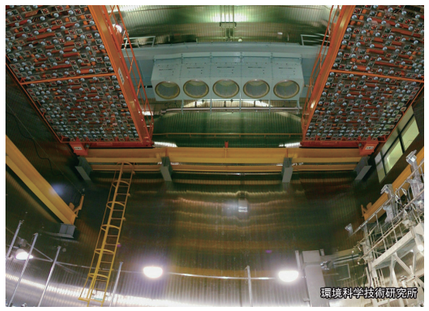
SDGsに関連した体験プログラム

学習のねらいとその効果

＊ 日本のエネルギー事情を理解し、エネルギー資源の有限性や環境問題への関心を高める。
＊ 発電の種類や仕組み、発電所の必要性や安全性についての知識を得る。
＊ 放射線に関わる実証的な研究や新しい技術情報についての知識を得る。
＊ 地球環境とエネルギーの未来について考えるきっかけとする。
＊ 五感を使っての体験や実験を通して、科学的なものの見方や考え方を学ぶ。

エネルギーの未来を考える青森が航空史に果たした役割とは？


二又風力発電所


環境科学技術研究所


青森県立三沢航空科学館(ミス・ビードル号のレプリカ


東通原子力発電所PR施設「トントゥビレッジ」


六ヶ所原燃PRセンター

日本や世界のエネルギー事情から地球環境問題を考える

エネルギー資源には限りがある上、中には地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出するものもあります。日本でのエネルギー消費量は減少傾向となっているものの海外に依存する化石燃料の利用は増加し温室効果ガスの排出量は増加しています。

そこで課題となっているのはエネルギー資源の安定供給と温室効果ガスの削減です。太陽光・風力などの再生可能エネルギーは、自給率UPと温室効果ガス削減に役立つと考えられています。

青森県では、原子力発電所、原子燃料サイクル施設、風力発電施設、国家石油備蓄基地などを整備。さらに、原子力と環境のかかわりをテーマに、放射線の環境・生物影響に関する調査研究をしている環境科学技術研究所もあり、まさに、エネルギー学習の適地といえます。

科学技術の歴史と発展を知り、「科学する心」を育てるきっかけに

1931年、ミス・ビードル号が世界初の太平洋無着陸横断飛行に成功しました。航空史に残るこの出来事の舞台となったのが三沢市淋代海岸で、地域の人々はこの旅立ちを支えたと伝えられています。1938年には、航空機航続距離世界記録を樹立した長距離機に、青森県にゆかりのある人たちが設計者や工場長、パイロットとして関わりました。さらに、その設計者・木村秀政博士は、戦後初の国産旅客機YS-11に技術委員長として携わるなど、青森が航空史に果たした役割は大きいといえます。

こうした偉業にふれ、子供たちが科学技術の歴史と発展に目を向けることは大切なことです。先入観を取り除いて物事と対峙することで、新たな発見や小さな疑問が沸き上がってくることもあります。体験や実験を出発点として、科学的なものの見方や考え方を学ぶことで、子供たちの「科学する心」の育成につなげていきます。

体験プランの一例



青森県立三沢航空科学館

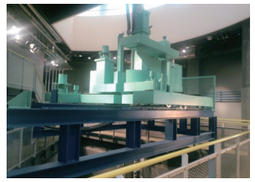
①航空ゾーン（20分）
青森県にゆかりのある航空機・航空史について理解を深める
↓
②科学ゾーン／アクティブフィールド（20分）
見たり、聞いたり、触れたり…五感を使って科学について学ぶ
↓
③科学ゾーン／テクノワールド（20分）
飛行の原理や仕組みについてシミュレーター等で体験しながら学ぶ
↓
④宇宙ゾーン（20分）大空から宇宙へ。宇宙を学ぶ

東通原子力発電所PR施設「トントゥビレッジ」

①多目的シアター（15分）
東通原子力発電所の安全対策を映像で学ぶ
↓
②展望室（20分）
太平洋を一望し、東通原子力発電所の概要や下北の原子力施設について学ぶ
↓
③原子力コーナー（15分）
原子力発電の仕組みやエネルギーについて学ぶ
↓
④しんがく館・しんゆう館（10分）
東通村の自然を学び、トントゥ（森の妖精）の遊びを体験

六ケ所原燃PRセンター

①展望ホール（10分）
解説を聞きながら、原子燃料サイクル施設、風力発電所やむつ小川原国家石油備蓄基地などを一望
↓
②サイクルステーション（20分）
原子燃料サイクルや放射線についてゲームや模型で学ぶ
↓
③原燃ツアーズ（20分）
原子燃料サイクル施設を8割大で再現した大型模型で学ぶ



環境科学技術研究所

①本館（20分）
研究の概要について聴講
↓
②全天候型人工気象実験施設（20分）
人工的に雨・雪・霧を作り、植物の放射性物質の取り込みについて実験を行う施設を見学
↓ バス移動（10分）
③先端分子生物科学研究センター（30分）
低線量放射線をマウスに照射して、その影響を個体から細胞さらに遺伝子のレベルまで詳細に研究する施設を見学



おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

東通原子力発電所PR施設「トントゥビレッジ」

お問い合わせ先 ☎0175-48-2777 小 中 高
住所／〒039-4223　東通村大字小田野沢字見知川山1-809
ウェブサイト／http://www.tonttu-village.jp
アクセス／青森東ICより車で約2時間。JR「下北駅」を経由し、バスを「下北交通バスターミナル」で乗り継いで約1時間。
開館時間／9:30～16:30（入館は16:00まで）
休館日／毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入館料／無料

新型コロナウイルス感染症対策実施

原子力・エネルギー学習と自然とのふれあい・体感（40～60分）
展望室や原子力コーナーで原子力発電やエネルギーについて学習し、しんがく館・しんゆう館で自然学習とトントゥ（森の妖精）の生活を体感できます。4～11月まではエデュトープ（自然学習の場）の散策もできます。
※アテンダントによるご案内をご希望の方は、事前にご予約をお願いします。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:30～16:30	最大40人	無料

環境科学技術研究所

高

お問い合わせ先 ☎0175-71-1240
住所／〒039-3212
六ヶ所村大字尾駮字家ノ前1-7
ウェブサイト／http://www.ies.or.jp
アクセス／青い森鉄道「野辺地駅」より車で約50分、JR「八戸駅」より車で約90分

新型コロナウイルス感染症対策実施

研究内容・施設見学（90分）
再処理工場から排出される放射性物質の環境中での動きや生物に与える影響について学びます。
※2週間前までにお申し込み下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年（平日のみ）	9:00～17:00	最大40人	無料

六ケ所原燃PRセンター

小 中 高

お問い合わせ先 ☎0175-72-3101
住所／〒039-3212　六ヶ所村大字尾駮字上尾駮2-42
ウェブサイト／http://6prc.jp
アクセス／青森方面より六ヶ所IC下車15分、JR「七戸十和田駅」より車で約60分
開館時間／9:00～17:00
休館日／毎月最終月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
※変更になる場合がございますので電話またはホームページでご確認ください。
入館料／無料
※感染症対策についてはP65参照

原子燃料サイクル体験ツアー（50分）
原子力発電所で使用した燃料から再利用できるものを取り出し燃料に加工し、原子力発電所で再び発電に利用する「原子燃料サイクル」の仕組みについて学ぶことができます。※ご案内ご希望の方は、事前にご予約をお願いします。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:00～17:00	最大100人	無料

青森県立三沢航空科学館

小 中 高

お問い合わせ先 ☎0176-50-7777
住所／〒033-0022　三沢市三沢字北山158
ウェブサイト／https://www.kokukagaku.jp
アクセス／青い森鉄道「三沢駅」より車で約15分、三沢・十和田・下田ICより車で約15分
開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、12/30～1/1
入館料／中学生以下無料　高校生300（団体240）円
※団体は20人以上

サイエンスショー・ワークショップ（40～60分）
身近な科学現象をテーマにした実験ショーや、科学原理を利用した簡単な工作を行います。
※サイエンスショー・ワークショップの団体対応は、2週間前までにご予約をお願いします。※ワークショップ：現在新型コロナウイルスの影響で中止

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:00～17:00（入館は16:30まで）	サイエンスショー 1回につき 15名まで	サイエンスショーは無料 ワークショップは材料費別途



こちらもオススメ！

むつ科学技術館

小 中 高

お問い合わせ先 ☎0175-25-2091
住所／〒035-0022　むつ市大字関根字北関根693
ウェブサイト／http://www.jmsfmml.or.jp/msm.htm
アクセス／JR「下北駅」より車で約20分
開館時間／9:30～16:30（入館は16:00まで）
休館日／毎週月・木曜日（祝日の場合はその翌平日）、12/28～1/4
入館料／小・中学生100（団体90）円　高校生200（団体180）円
※学校行事で来館の場合は無料（要予約）
※団体は20人以上

施設見学（60分）
光、音、大気など自然界の基本的構成要素を対象に、ミクロとマクロの両方の視点から自然の不思議や、様々な科学の面白さを体験できます。※事前にご予約をお願いします。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:30～16:30	最大60人	無料

現地からのメッセージ

東通原子力発電所PR施設「トントゥビレッジ」キャラクター「カン」



美しい自然に囲まれた下北郡東通村の豊かな緑の森にあるのがトントゥビレッジです。森に住む動植物を観察したり、エネルギーや原子力発電のしくみを知ることができ、私たちの暮らしに欠かせない自然とエネルギーの大切さを理解し、実感できる施設となっております。人と自然が仲よく暮らすトントゥビレッジを「森の妖精」トントゥがご案内します。皆様のお越しをお待ちいたしております。

テーマ 09

教科とのかかわり

美術

SDGsに関連した体験プログラム

青森で芸術を学ぶ

学習のねらいとその効果

＊ 生きる歓びを高らかに謳った力強い作品の魅力にふれ、豊かな感性を養う。
＊ 美的体験を豊かにし、美術を愛する心を育てる。
＊ 作者の心情や意図と創造的な工夫などを理解し、作品に対する見方を深める。
＊ 創作に対するひたむきな姿勢やたゆまぬ努力から、人の生き方を考えるきっかけとする。



青森県立美術館　作品名「Nagaki Yo」　作者名:奈良美智　©Yoshitomo Nara　2005年


青森県立美術館


弘前れんが倉庫美術館


十和田市現代美術館

国内外の様々な作品に触れ、感性を育み、理解を深める

作品を鑑賞するだけでなく、芸術を五感で味わえるのが現代アートの魅力。国内外で活躍するアーティストたちが美術館のために作品を制作した「十和田市現代美術館」では、アートを体験する楽しさを知るとともに、現代アートの多彩な表現方法を学び、作品に込められた思いについて考えます。自然豊かな環境の中で国内外のアートに親しむなら「青森公立大学国際芸術センター青森」。敷地内の森に点在する彫刻作品や、世界各国のアーティストが青森に滞在中制作した作品を鑑賞することができます。感性を育むとともに、国際文化への理解を深める良い機会といえます。

青森県の芸術風土を世界に向けて発信し続ける「青森県立美術館」。マルク・シャガールが描いたバレエ「アレコ」の巨大な背景画のほか、強烈な個性を持つ棟方志功、奈良美智、成田亨など郷土ゆかりの作家を中心に約4,000点の作品・資料を所蔵しています。

また、子どもの豊かな感性や創造力を育むため、スクールプログラムを実施しています。

2020年7月11日、過去・現在そして未来をつなぐ新しい美術館「弘前れんが倉庫美術館」がグランドオープンした。約100年前に酒造工場として建てられた煉瓦倉庫を改修・再生させた美術館では、アーティストと地域を結ぶワークショップをはじめとする、様々なプログラムが実施されている。

作品にあふれる「人間・棟方志功」の魅力

ゴッホの『ひまわり』に大きな衝撃を受け、画家を志して上京した棟方志功。帝展で油絵が入選を果たした頃には、木版画に惹かれていたといわれます。版画に独自の世界を見出し、創作活動に打ち込んだ棟方志功は、「板の命を彫り起こす、板による表現」として、自らの作品を版画ではなく「板画」と呼びました。

棟方志功のエネルギーと精神性にあふれた作品は、やがて国内外で高い評価を受けるようになります。棟方志功作品の底流にあるのは「あおもりの風土」や「あおもりの魂」。郷土を愛する棟方志功の作品には、自らを生み、育んだ豊かな自然や文化を持つ青森が、原風景として投影されています。芸術家の作品や創作姿勢、人生に触れることは、自らの生き方について考えるきっかけになります。

体験プランの一例

美術館でじっくり作品と向き合い、作家や作品について学びます。



青森県立美術館


誘導鑑賞の様子

●誘導鑑賞プログラム（約60分）

①鑑賞マナー指導（約10分）

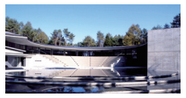
↓

②誘導鑑賞（約50分）

小グループ（10名程度）に分かれ、スタッフの誘導により常設展示室内を巡り、所蔵作品を鑑賞する。

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）

❶ 鑑賞マナー等の説明（5分）
→
❷ 展覧会鑑賞（30分）
滞在アーティストの作品を鑑賞
→
❸ 野外彫刻鑑賞（30分）
敷地内の森を散策しながら野外彫刻を自由に鑑賞



十和田市現代美術館

❶ 鑑賞マナー等の説明（5分）
→
❷ 展示作品の鑑賞（45分）
館内展示作品を鑑賞
→
❸ アート広場作品鑑賞（30分）
広場を散策しながら作品を自由に鑑賞


ロン・ミュエク
《スタンディング・ウーマン》
撮影：小山田邦哉

おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

青森県立美術館 小 中

お問い合わせ先 ☎017-783-3000
住所／〒038-0021　青森市安田字近野185
ウェブサイト／http://www.aomori-museum.jp
アクセス／青森市営バス 青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き「県立美術館前」下車、ルートバスねぶたん号 JR「新青森駅」東口バス停から乗車「県立美術館前」下車、JR「新青森駅」から車で約10分
青森駅から車で約20分 青森空港から車で約20分
青森I.C.から車で約5分
開館時間／9:30～17:00 ※入館は開館の30分前まで
観覧料（常設展）／小・中学生100（80）円、高校生300（240）円
※（ ）内は20人以上の団体料金です。
※小・中・特別支援学校が教育課程に基づく学習活動として観覧する場合等、申請により常設展の観覧料が免除される制度があります。詳細は事前予約の際にお問い合わせください。
※企画展は別料金となります。事前予約の際にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症対策実施

スクールプログラム（60～120分程度）

常設展示を自由に鑑賞する自由鑑賞プログラム（60分）、簡単な解説付誘導鑑賞プログラム（60分）、鑑賞と創作を組合わせたオリジナルプログラム（120分）を選択いただけます。
※要事前申込・打合（来館希望日の1.5ヶ月前までに）
※当館の体制等により、受入できない場合がございます。
※企画展の解説等については、事前にお問い合わせ下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年（原則平日）	9：30～17：00	最大80人程度	上記参照

※新型コロナウイルス感染症対策の凡例はP1参照

棟方志功記念館 小 中 高

お問い合わせ先 ☎017-777-4567
住所／〒030-0813　青森市松原2-1-2
ウェブサイト／https://munakatashiko-museum.jp/
アクセス／青森中央I.Cより車で約15分、JR「青森駅」より青森市営バス「棟方志功記念館通り」下車、徒歩約4分
JR「新青森駅」より青森市営バス「堤橋」下車、徒歩約10分
開館時間／4月～10月 9:00～17:00、11月～3月 9:30～17:00
入館料／小・中学生無料、高校生200（団体100）円
※団体は20人以上、引率は無料
※特別展会期中は変更している場合もあります。

新型コロナウイルス感染症対策実施

作品鑑賞（30～60分程度）

板画家・棟方志功の文化勲章受章を記念して昭和50年に開館。代表作・板画「二菩薩釈迦十大弟子」をはじめ、棟方作品の所蔵数は日本一で、それを年4回展示替えをしながら順次紹介しています。彫刻刀・筆などの愛用品、写真なども展示しており、ゴッホを敬愛し、ふるさと青森をこよなく愛した棟方志功の世界にふれることができます。学芸員による解説や質問等がある場合は事前にお問い合わせ下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9:00～17:00（4月～10月） 9:30～17:00（11月～3月）	最大50人（要グループ分け）	入館料（上記参照）

弘前れんが倉庫美術館 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0172-32-8950
■住所／〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
ウェブサイト／https://www.hirosaki-moca.jp/
■アクセス／JR「弘前駅」から土手町循環100円バスで8分「土手町十文字」下車徒歩4分
■開館時間／9:00～17:00
■観覧料／高校生以下無料、一般は展覧会により観覧料が異なる
※児童・生徒数が20名ごとに引率者（保護者含む）1名無料

新型コロナウイルス感染症対策実施

自由鑑賞（45分～80分程度）

約100年前に酒造工場として建てられた煉瓦倉庫を改修し、2020年に開館した現代美術館です。自由鑑賞、または、小グループに分かれて各自で自由に鑑賞します。
※会場に入る前に鑑賞マナー等の説明あり（5～10分ほど）※要事前申し込み（来館希望日の1か月前まで）※展示替えの期間は受け入れておりません

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年※1	9:00～17:00	最大80人※2	上記参照

※1 原則平日、展覧会開催期間中のみ
※2 状況により人数調整または受け入れできない場合がございます

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）

お問い合わせ先 ☎017-764-5200 小 中 高
■住所／〒030-0134　青森市合子沢字山崎152-6
ウェブサイト／http://www.acac-aomori.jp
■アクセス／JR「青森駅」からJRバスまたは青森市営バスで約40分、「青森公立大学」下車
■開館時間／9:00～19:00（展覧会は、お問い合わせ下さい）
■入館料／無料

新型コロナウイルス感染症対策実施

展覧会と野外彫刻鑑賞（60分）

会期中の展覧会及び施設周辺に点在する野外彫刻を各自で自由に鑑賞します。
※展覧会（室内）については、実施していない場合もあるため事前にお問い合わせ下さい。
※事前に御予約下さい。
※ワークショップ等の創作体験も用意できます。スタッフの体制等によって受け入れできない場合がありますので、事前に打合せが必要です。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料　金
通年	9：30～17：00	最大100人程度	無料


青森公立大学 国際芸術センター青森

十和田市現代美術館 小 中 高

お問い合わせ先 ☎0176-20-1127
住所／〒034-0082　十和田市西二番町10-9
ウェブサイト／http://towadaartcenter.com
アクセス／JR「七戸十和田駅」から十和田観光電鉄バスで35分、「十和田市現代美術館」下車
開館時間／9:00～17:00（入館は30分前まで）
入館料／高校生以下無料、大人1,200 円（団体1,100 円）
※企画展のない時期は520円

美術作品常設展示、アート広場作品鑑賞（60～90分）

世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示。また美術館向いには、作品のあるアート広場、通りにはストリートファニチャーが置かれ、自由に鑑賞できます。ワークショップが年数回、不定期に開催されますのでお問い合わせ下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	9：00～17：00	最大100人（要グループ分け）	無料


草間彌生《愛はとこしえ十和田でうたう》撮影：小山田邦哉

現地からのメッセージ

青森公立大学
国際芸術センター青森
学芸員
金子由紀子さん



当館では、芸術家が滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを主な事業としています。第一線で活躍する芸術家が青森で制作した作品による展覧会、芸術家が講師を務めるワークショップやレクチャー、ACACの専門スタッフによる創作体験など、様々な芸術体験の場を設けています。敷地内には散策路や野外彫刻があり、八甲田山麓の自然を楽しむことも出来ます。街中の喧噪から離れゆったりと静かな時間をお過ごしください。